Arcserve® 製品ライセンス ユーザ ガイド

バージョン 1.0

arcserve°

法律上の注意

組み込みのヘルプシステムおよび電子的に配布される資料も含めたこのドキュメント(以下「本書」)はお客様への情報提供のみを目的としたもので、Arcserve により随時、変更または撤回されることがあります。このドキュメントは、Arcserve の専有情報であり、Arcserve の事前の書面による承諾なしに、全部または一部をコピー、譲渡、複製、開示、変更、複写することを禁止します。

本ドキュメントで言及されているソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし、Arcserveのすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本書を印刷するかまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、そのライセンスが終了した場合には、ユーザは Arcserve に本書の全部または一部を複製したコピーを Arcserve に返却したか、または破棄したことを文書で証明する責任を負います。

準拠法により認められる限り、ARCSERVE は本書を現状有姿のまま提供し、商品性、お客様の使用目的に対する適合性、他者の権利に対する不侵害についての黙示の保証を含むいかなる保証もしません。また、本システムの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の損失等、いかなる損害(直接損害か間接損害かを問いません)が発生しても、ARCSERVE はお客様または第三者に対し責任を負いません。ARCSERVE がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本書に記載されたソフトウェア製品は、該当するライセンス契約書に従い使用されるものであり、当該ライセンス契約書はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本書の制作者はArcserveです。

「制限された権利」のもとでの提供:アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Section 12.212、52.227-14、52.227-19(c)(1) - (2)、DFARS Section 252.227-7014(b)(3)、またはこれらの後継の条項で規定されている該当する制限に従うものとします。

© 2024 Arcserve (その関連会社および子会社を含む) All rights reserved. サードパーティの商標または著作権は各所有者に帰属します。

Arcserve サポートへの問い合わせ

Arcserve サポート チームは、技術的な問題を解決する際に役立つ豊富なリソース セットを提供し、重要な製品情報にも容易にアクセスできます。

テクニカル サポート への問い合わせ

Arcserve サポートをご利用いただくと次のことができます。

- Arcserve サポート の専門家が社内で共有しているのと同じ情報ライブラリに直接アクセスできます。このサイトから、弊社のナレッジ ベース(KB)ドキュメントにアクセスできます。ここから、重要な問題やよくあるトラブルについて、製品関連 KB 技術情報を簡単に検索し、検証済みのソリューションを見つけることができます。
- ライブ チャット リンクを使用して、Arcserve サポート チームと瞬時 にリアルタイム で会話を始めることができます。 ライブ チャット では、製品 にアクセスしたまま、 懸念事項 や質問に対する回答を即座に得ることができます。
- Arcserve グローバルユーザコミュニティでは、質疑応答、ヒントの共有、ベストプラクティスに関する議論、他のユーザとの対話に参加できます。
- サポート チケットを開くことができます。オンラインでサポート チケットを開くと、 質問の対象製品を専門とする担当者から直接、コールバックを受けられます。
- また、使用している Arcserve 製品に適したその他の有用なリソースにアクセスできます。

コンテンツ

第1章: Arcserve ライセンスドキュメントの使用	7
Arcserve ライセンス ユーザ ガイドについて	8
Arcserve 製品 リファレンス	9
言語 サポート	10
第2章: Arcserve 製品ライセンス アクティベーションの理解	11
主な機能	12
機能および性能	13
第3章: Arcserve Email Archiving の Arcserve ライセンスの使用	17
オンラインで Arcserve Email Archiving ライセンスをアクティブ化 する方法	18
オフラインで Arcserve Email Archiving ライセンスをアクティブ化 する方法	23
ライセンスを管理する方法	32
プロファイルへのライセンスの割り当て	33
メールボックスへのライセンスの割り当て	36
Arcserve Email Archiving ライセンスを非アクティブ化 する方法	38
オンラインでの Arcserve Email Archiving ライセンスの非アクティブ化	39
オフラインでの Arcserve Email Archiving ライセンスの非アクティブ化	40
第4章: Arcserve UDP の Arcserve ライセンスの使用	41
Arcserve UDP ライセンスをアクティブ化 する方 法	42
インストール後の Arcserve UDP のアクティブ化	43
インスト 一ル中 の Arcserve UDP のアクティブ化	60
Arcserve UDP ライセンスを管 理 する方 法	65
前提条件の確認	66
ライセンスの割り当て	67
ノード からのライセンスの解 放	69
ライセンスの確認	70
Arcserve UDP ライセンスを非アクティブ化 する方 法	71
オンラインでの Arcserve UDP ライセンスの非 アクティブ化	72
オフラインでの Arcserve UDP ライセンスの非 アクティブ化	73
Arcserve UDP のライセンスをアップグレード する方 法	74
第5章: Arcserve Backup に対する Arcserve ライセンスの使用	77
Arcserve Backup ライセンスをアクティブ化 する方 法	78
オンラインでの Arcserve Backup ライセンスのアクティブ化	79
オフラインでの Arcserve Backup ライセンスのアクティブ化	83

ライセンス アクティベーションのユーザの詳 細を更新 する方法	91
以前のバージョンのエージェントへの Arcserve Backup ライセンスの適用	92
Arcserve Backup ライセンスを管理する方法	94
前提条件の確認	95
ライセンスの割り当て	96
ノード からのライセンスの解 放	97
ライセンスの確認	99
Arcserve Backup ライセンスを非アクティブ化 する方 法	100
オンラインでの Arcserve Backup ライセンスの非 アクティブ化	101
オフラインでの Arcserve Backup ライセンスの非アクティブ化	103
Arcserve Backup のライセンスをアップグレード する方 法	105
第6章: スタンドアロン エージェント に対する Arcserve ライセンの使用	ノス 107
スタンドアロン エージェント 用の Arcserve ライセンス キーを生成する方法	
製品向上プログラムの登録中にArcserve のライセンスをスタンドアロン エーントに適用する方法	-ジェ 111
第6章: Arcserve - Continuous Availability、Live Migration、I用の Arcserve ライセンスの生成	
Arcserve Continuous Availability 用のArcserve ライセンス キーを生成する方	5法113
Arcserve Live Migration 用のArcserve ライセンスキーを生成する方法	117
Arcserve RHA 18.0 SP1 用の Arcserve ライセンス キーを生成 する方法	122
Arcserve RHA 16.5 用の Arcserve ライセンス キーを生成する方法	127
第7章: ライセンス適用前の Arcserve 製品の使用	132
トライアル版 Arcserve 製品の使用方法	133
トライアル版 Arcserve UDP の延長	134
トライアル版 Arcserve Backup の延長	137
Arcserve のトライアルの延長 Email Archiving	140
Arcserve UDP Workstation Free Edition について	144
UDP Workstation Free Edition に関する FAQ	
第8章: Arcserve ライセンス ポータルの使用	146
Arcserve ライセンス ポータルの理 解	147
Arcserve ライセンス ポータルの画 面 の説 明	149
ユーザオプションの管理	151
製 品 ライセンスの管 理	152
ライセンス プールのステータスの表 示	153
ライセンス プールの管 理	157
オフラインでの Arcserve 製 品 ライセンスのアクティブ化	164
オンラインでの Arcserve 製 品 ライセンスのアクティブ化	165

使用履歴の表示	166
オーダー履歴の表示	167
スタンドアロン エージェント/Arcserve RHA 用のキーのダウンロード	168
59章: FAQ	170
システムがインターネットに接続されているときに、オフライン アクティベ 強制的に実行する方法	ーションを 171
Arcserve からライセンス関連の通知を頻繁に受信する理由	172
Internet Explorer を使用して最新の変更を表示する方法	173
Arcserve ライセンス アクティベーション電子 メールが届 かない	175
ライセンスが使用可能であっても、アプライアンスにライセンス エラーが る	表示され 176
Arcserve Backup と Arcserve UDP が同じマシン上にある場合にオンライベーションを実行する方法	(ン アクティ 178
Arcserve Backup とArcserve UDP が同じマシン上にある場合にオフライベーションを実行する方法	ン アクティ 179
NDMP をサポートする NAS フィルタ用の Arcserve UDP ソケット ベースコ にライセンスを適用する方法	ロディション 179
クラウド内のサーバ用の Arcserve UDP にライセンスを適用する方法	180
510章:トラブルシューティング	181
オンライン アクティベーションをアクティブ化 すると、 オフライン アクティベ 切り替 わる	ーションに 182
Arcserve UDP v6.5 スタンドアロン エージェント へのアップグレード後、ポグイン認証情報を使用できなくなった	ータルのロ 184
ライセンス SDK をインスト ールおよびアンインスト ールする方 法	185

第1章: Arcserve ライセンスドキュメントの使用

Arcserve 製品ライセンスユーザガイドへようこそ。このガイドでは、Arcserve 製品にライセンスを適用する方法について説明します。また、Arcserve ライセンスポータルを使用して Arcserve 製品の複数のライセンスを一元管理する方法についても説明します。

このセクションには、以下のトピックが含まれます。

Arcserve ライセンス ユーザ ガイドについて	. 8
Arcserve 製品リファレンス	. 9
言語サポート	.10

第1章: Arcserve ライセンスドキュメントの使用 7

Arcserve ライセンス ユーザ ガイドについて

Arcserve ライセンス ユーザ ガイドに従って操作すると、Arcserve 製品のライセンスのアクティベーションを完了することができます。このガイドでは、製品購入後にアクティベーション プロセスを完了するために必要なプロセスについて説明します。

このドキュメント の主なセクション

- *第 2 章*では、Arcserve 製品のライセンスのアクティベーションを理解するうえで重要な機能について概説します。
- 第3章では、Arcserve Email Archiving のライセンスをアクティブ化、管理、および非アクティブ化する方法について説明します。
- 第4章では、Arcserve UDP のライセンスをアクティブ化、管理、および非アクティブ化する方法について説明します。
- 第5章では、Arcserve Backup のライセンスをアクティブ化、管理、および非アクティブ化する方法について説明します。
- *第 6 章*では、スタンドアロン エージェント のライセンスをアクティブ化 する方 法 について説 明します。
- 第 7 章では、トライアル モードで Arcserve 製品を使用する方法について説明します。
- 第8章では、Arcserve ライセンスポータルを使用してライセンスを管理するための手順を順を追って説明します。
- 第9章では、FAQ(よくある質問)の回答を示します。
- 第 10 章では、リストされている問題のトラブルシューティング手順を示します。

Arcserve 製品 リファレンス

このマニュアルが参照している Arcserve 製品は以下のとおりです。

- Arcserve® Backup
- Arcserve® Unified Data Protection
- Arcserve® Unified Data Protection Archiving

言語サポート

翻訳済み製品(ローカライズ済み製品とも言います)とは、製品のユーザインターフェース、オンラインヘルプ、その他ドキュメントのローカル言語サポートに加えて、日付、時刻、通貨、数値に関してローカル言語でのデフォルトの書式設定をサポートする国際化製品です。

このリリースは、英語リリースに加えて、以下の言語に翻訳/ローカライズされています。

言語	HTML	PDF
中国語(簡体字)	<u>リンク</u>	<u>リンク</u>
中国語(繁体字)	<u>リンク</u>	<u>リンク</u>
フランス語	<u>リンク</u>	<u>リンク</u>
ドイツ語	<u>リンク</u>	<u>リンク</u>
イタリア語	<u>リンク</u>	<u>リンク</u>
日本語	<u>リンク</u>	<u>リンク</u>
韓国語	<u>リンク</u>	<u>リンク</u>
ポルトガル語	<u>リンク</u>	<u>リンク</u>
スペイン語	<u>リンク</u>	<u>リンク</u>

第2章: Arcserve 製品ライセンス アクティベーションの理解

Arcserve では、Arcserve ライセンス ポータルという名前のポータルを使用して、複数の Arcserve 製品のライセンスをアクティブ化および管理できます。製品ライセンスプロセスでは、製品コンソールから新しいライセンスを直接アクティブ化し、Arcserve ライセンス ポータルを使用してライセンスの使用を管理することができます。 ライセンス プロセスは、オフライン モードでも使用されます。

このセクションには、以下のトピックが含まれます。

主な機能		12
機能および性能	É	13

主な機能

Arcserve 製品アクティベーションの主な機能を以下に示します。

- Order ID と Fulfillment Number を使用して、Arcserve 製品をアクティブ化できます。
 - Order ID と Fulfillment Number は、以前のバージョンでライセンス キーが記載されていたものと同じライセンス プログラム証明書に印刷されています。
- 1 つの電子メールアドレスを使用して、複数の Arcserve 製品 アクティベーションを管理できます。
 - この電子メールアドレスは、確認メッセージおよびアクティベーション リンクを受け取るほか、Arcserve ライセンスポータルでライセンスを管理するために使用されます。
 - 注:必要に応じて、購入の際に使用したのとは異なる電子メールアドレスを 使用できます。
- 同じライセンス証明書の詳細を使用して、異なる場所にインストールされている複数の Arcserve 製品をアクティブ化できます。
 - この機能により、さまざまなシステム間で正しいフルフィルメントを自動的に共有できます。
- Arcserve 製品サーバがインターネットにアクセスできない場合、オフラインモードの製品アクティベーションが自動的に利用可能になります。
- 特別なシナリオの場合は、Arcserve UDP コンソールに通知が送信されます。たとえば、アクティベーションなし、ライセンス済み容量に近い使用状況、期限切れなどです。

現在のページ:

機能および性能

Arcserve 製品 のエディション、機能、性能、および展開オプションを以下に示します。

林 女によくしゃさむ						
機能および性能	Free	Workstation	Standard	Advanced	Premium	Appliance
Windows のイ						
メージ ベース	√		√	-	🗸	
のバックアップ			_			
ベアメタル復						
旧(UEFIおよ	_					
びセキュア	-					
ブートのサ			•		_	
ポートを含む)						
統合された	=4 11	_		_	_	_
Web ベースの	該当					
一元管理	なし		•	•		
グローバルな	該当					
ソース デデュ	はっている。		√	-	🗸	
プリケーション	なし		_			
WAN 最適化	該当 なし	√	√	✓	√	✓
vSphere およ						
び Hyper-V に	該当					
対する仮想ス	なし	'	V	V	V	V
タンバイ						
基本的なテー						
プ バックアップ						
(UDP 復旧ポ						
イントのテープ	=+ 1/					
へのマイグレー	該当		-			🗸
ション、単一	なし		•			
のテープドラ						
イブのサポー						
<i>(</i> -)						
Linux のイメー	=± \//		_	_	_	
ジベースの	該当	該当なし	√			
バックアップ	なし					

vSphere およ び Hyper-V の エージェントレ ス バックアップ	該当なし	該当なし	✓	√	√	√
UNC パス (CIFS/NFS) か らのバックアッ プ	該当なし	該当なし	<	✓	>	>
vSphere およ び Hyper-V の 自動 VM 保 護	該当 なし	該当なし	該当なし	√	✓	√
vSphere およ び Hyper-V に 対 するインス タント VM	該当なし	該当なし	該当なし	√	✓	✓
GCP、Amazon EC2、Azure に 対する仮想ス タンバイおよび インスタント VM		該当なし	該当なし	√	✓	√
CSVFS のサ ポートおよび Point-In-Time 復旧を含む Microsoft SQL のサポート (ア プリケーション 対応のバック アップおよび復 旧)	なし	SQL Express のみ	該当なし	✓	>	✓
詳細復旧を 含む Microsoft Exchange のサ ポート (アプリ ケーション対 応のバックアッ プおよび復 旧)	該当 なし	該当なし	該当なし	✓	✓	✓

				1		
Oracle Linux UEK (Unbreakable Enterprise Kernel) のサ ポート	該当 なし	該当なし	該当なし	✓	√	√
Nutanix AHV VM のエージェ ントレス バック アップ	該当 なし	該当なし	該当なし	該当なし	✓	✓
Nutanix AHV に対するイン スタント VM および仮想ス タンバイ	該当 なし	該当なし	該当なし	該当なし	>	✓
Nutanix AHV の自動 VM 保護	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	<	<
SLA レポート 用のアシュ アード リカバリ テスト	該当 なし	該当なし	該当なし	該当なし	✓	✓
完全なテープ バックアップ (複数のテー プドライブのラ イブラリ、 NDMP、CIFS バックアップお よび広範なプ ラットフォーム のサポート)	該し	該当なし	該当なし	該当なし	✓	✓
vSphere の PE 3PAR、 Nimble、 NetApp ハー ドウェア スナッ プショット	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	✓	√
vss ハードウェ ア スナップ ショット のサ ポート	該当 なし	該当なし	該当なし	該当なし	✓	✓

役割べ―スの管理	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	<	<
アシュアード セキュリティ	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	\	\

注: Office 365 バックアップ - Exchange オンライン(6.5)、SharePoint Online (6.5 Update 4)、および OneDrive (7.0 の新機能)では、ユーザライセンスと管理容量ライセンスは互換性があります。

第3章: Arcserve Email Archiving の Arcserve ライセンスの使用

このセクションには、以下のトピックが含まれます。

オンラインで Arcserve Email Archiving ライセンスをアクティブ化 する方法	18
オフラインで Arcserve Email Archiving ライセンスをアクティブ化 する方法	23
ライセンスを管理する方法	32
Arcserve Email Archiving ライセンスを非アクティブ化 する方法	38

第3章: Arcserve Email Archiving の Arcserve ライセンスの使用 17

オンラインで Arcserve Email Archiving ライセンスをアクティブ化 する方法

Email Archiving を使用すると、Email Archiving コンソールから直接製品ライセンスをアクティブ化することができます。 Email Archiving のライセンスは、Super Admin だけがアクティブ化することができます。

以下の手順に従います。

1. Email Archiving コンソールの右上から、 [super Admin] アイコンをクリックします。

複数のオプションが表示されます。

オプションのリストで、 アクティベーションとライセンス]をクリックします。
 アクティベーションとライセンス]ページが表示されます。 製品アクティベーションの詳細]タブが表示されます。



3. **アクティベーションとライセンス**] ダイアログ ボックスで、以下の詳細を入力します。

電子メールアドレス

電子メールアドレスを指定します。

注:この電子メールアドレスに確認用電子メールが送信されます。

名前

名前を指定します。

会社名

会社名を指定します。

電話番号

電話番号を以下の形式で指定します:

国コード-電話番号。例: 000-1122334455

Order ID

Order ID を指定します。

注:製品の購入後、Order ID が送信されます。

Fulfillment Number

Fulfillment Number を指定します。

注:製品の購入後、Fulfillment Number が送信されます。

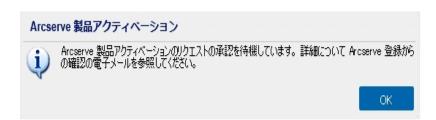
注:任意で **製品向上プログラム**] チェック ボックスをオンにして、このプログラムに参加することもできます。

重要: Arcserve がアクティベーション プロセスの中 でマシン固 有 のデータを 収集 することに同意します。] チェック ボックスをオンにするまで、製品 のライセンスまたはアクティベーションは行われません。

4. **アクティブ化**]をクリックします。

注: アクティブ化]ボタンは、電子メールアドレス、Order ID、Fulfillment Number などの必須フィールドの詳細を入力すると有効になります。

指定した Order ID および Fulfillment Number が正しい場合は、確認ダイアログ ボックスが表示されます。



5. 確認ダイアログボックスで、**閉じる**]をクリックします。

Arcserve は登録およびライセンス アクティブ化プロセスの完了に役立つ確認メールを送信します。

- 6. アクティベーションで指定した電子メールアドレスで、Arcserve からの登録 メールを開き、以下の手順を実行します。
 - a. その登録電子メールから、アクティベーション用のリンクをクリックします。

以前 Arcserve Email Archiving のライセンス アクティベーションを実行している場合(既存のユーザ)、下記の手順 c に移動します。

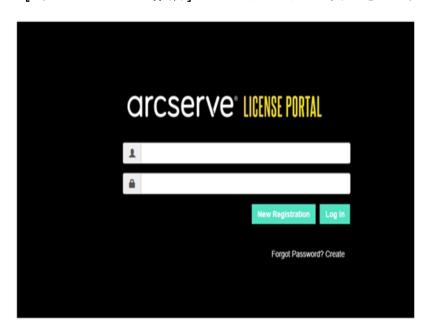
Arcserve Email Archiving の新規ユーザへの注意! 受信した電子メールから 「アクティブ化] オプションをクリックすると、ライセンス アクティベーションが正常に完了し、アクティベーションに使用されるサーバにすべてのライセンス数 が割り当 てられます。ただし、アクティベーション電子メールに記載されている複数のサーバへのライセンスの詳細な割り当てオプションを選択する場合、下記の手順が適用されます。

Arcserve の登録ページが表示され、ユーザの電子メールがすでに入力された状態で **パスワードの作成**] ダイアログ ボックスが表示されます。

注: アクティベーションを完了するには、リンクを使用して、Arcserve ライセンスポータルのプロファイルを作成します。 プロファイルを作成するには、パスワードを入力し、ライセンスプールを1つ作成します。

b. 「パスワードの作成」ダイアログボックスで、Arcserve ライセンスポータルのプロファイルを作成するために希望のパスワードを入力し、保存」をクリックします。

ライセンス プールの作成]ダイアログ ボックスが表示されます。



c. 「ライセンス プールの作成] ダイアログ ボックスで、以下の詳細を入力します。

ライセンス プール名: ライセンス プールの名 前を示します。

単位:製品に使用される単位のタイプを示します。

新しいプール数:アクティブ化する数量を示します。

注:メールボックスごとに提供されるライセンスの数。

メールボックスごと: アーカイブに使用するメールボックスの数を示します。

d. **保存**]をクリックして、ライセンス アクティベーション プロセスを完了します。

Arcserve ライセンス ポータルのログイン ページが表 示されます。 Arcserve 製品 ライセンスを管理 する必要 があるときはログインします。

アクティベーションを完了すると、Email Archiving コンソールに戻ります。

7. **製品アクティベーション**]タブのアクティベーションのステータスを確認してください。

ライセンスがアクティブ化されたことを確認するメッセージが表示され、必要に応じて電子メールアドレスを更新することができます。



8. コンソールから直接ライセンスを管理するには、**ライセンス管理**]タブをクリックします。



Copyright © 2018 Arcserve. All rights reserved. プライバシー ポリシー | サポートポリシー | 利用規約

9. **ライセンスの更新**]をクリックして、アクティブ化されたライセンスを表示します。

すべてのライセンスを直接管理するには、 Arcserve ポータルを開く]を使用します。

ビデオで手順を確認するには、「<u>Arcserve Email Archiving ライセンスをオンラインで</u>アクティブ化する方法」をクリックします。

オフラインで Arcserve Email Archiving ライセンスをアクティブ化 する方法

オンラインでない場合でも、Email Archiving ライセンスをアクティブ化することができます。Arcserve 製品がインターネットにアクセスできない場合は、オフラインアクティベーションに自動的にリダイレクトされます。

アクティベーションとライセンス] ダイアログ ボックスの **製品アクティベーション**] タブで **アクティブ化**] をクリックすると、Email Archiving コンソールからオフライン アクティベーションが開始されます。Email Archiving は、オフライン アクティベーション方式が要求されたことを検知し、オフライン アクティベーションを完了できるようにサポートします。

重要:1 台 のマシンでオフラインでのアクティベーション プロセスを完 了 するには、別 のマシンでインターネット にアクセスする必 要 があります。

以下の手順に従います。

1. Email Archiving コンソールの右上から、 [super Admin] アイコンをクリックします。

複数のオプションが表示されます。

2. オプションのリストで、**アクティベーションとライセンス**]をクリックします。 「アクティベーションとライセンス]ページが表示されます。 製品アクティベーションの詳細] タブが表示されます。



3. **アクティベーションとライセンス**] ダイアログ ボックスで、以下の詳細を入力します。

電子メールアドレス

電子メールアドレスを指定します。

注:この電子メールアドレスに確認用電子メールが送信されます。

名前

名前を指定します。

会社名

会社名を指定します。

電話番号

電話番号を以下の形式で指定します:

国コード-電話番号。例: 000-1122334455.

Order ID

Order ID を指定します。

注:製品の購入後、Order ID が送信されます。

Fulfillment Number

Fulfillment Number を指定します。

注:製品の購入後、Fulfillment Number が送信されます。

注:任意で 製品向上プログラム] チェック ボックスをオンにして、このプログラムに参加することもできます。

重要: Arcserve がアクティベーション プロセスの中 でマシン固 有 のデータを収集 することに同意します。] チェック ボックスをオンにするまで、製品 のライセンスまたはアクティベーションは行われません。

4. **アクティブ化**] をクリックします。

アクティベーションとライセンス] ウィンドウが開きます。

5. 製品アクティベーション]タブの保存]をクリックします。

重要: オフラインでのアクティベーションプロセスを完了するには、下の画面に示された次の手順に従ってください。

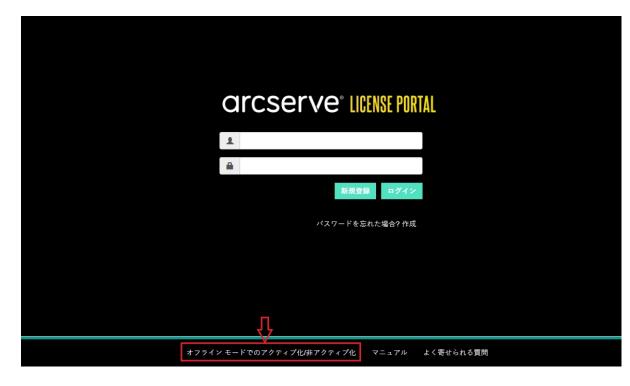
activation.arc ファイルは、以下の場所に保存されています。

/var/fas/www/Offline

- 6. オンラインマシンで次の手順に従います。
 - a. インターネット にアクセスできるマシンに activation.arc ファイルをコピーし、同じマシンで以下 の URL を開きます。

注: 利便性のため、secure copy (scp) ツールで、UDP_admin 資格情報を使用して activation.arc ファイルをコピーすることをお勧めします。

https://www.arcserve-register.com/AERPEndUserPortal/index.html#/
Arcserve ライセンス ポータルが開きます。



b. ログイン ページで **オフライン モードでのアクティブ化 / 非 アクティブ化**] をクリックします。

オフラインアクティベーションのページが開きます。



c. 保存した activation.arc ファイルをオフライン アクティベーションのページ にドラッグ アンド ドロップします。

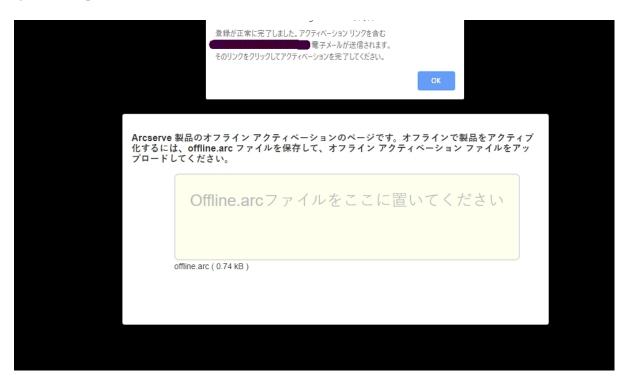


d. **アップロード**]をクリックします。

次のポップアップメッセージが表示されます。

製品のアクティベーションがほぼ完了しました。電子メールアドレスに送信された電子メールのリンクに従って、製品のアクティベーションを完

了してください。



- e. アクティベーションに指定した電子メールアドレスを開きます。 Arcserve の登録の電子メールを確認できます。
- f. その電子メールから、アクティベーション用のリンクをクリックします。

Arcserve の登録ページが開きます。ユーザの電子メールがすでに入力 された状態で **パスワードの作成**] ダイアログ ボックスが表示されます。

注: Arcserve アクティベーションを完了 するには、このリンクでライセンスポータルのプロファイルを作成 する必要 があります。 プロファイルを作成 するには、パスワードを入力し、ライセンスプールを1つ作成する必要があります。

g. **パスワードの作成**] ダイアログ ボックスで、希望 のパスワードを入力 し、 **保存**] をクリックします。

ライセンス プール] ダイアログ ボックスが表 示されます。





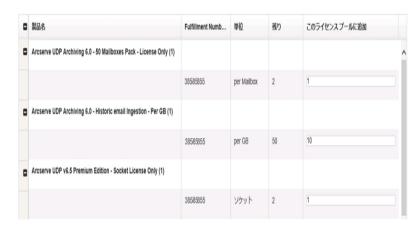
h. 次の操作を実行してライセンスプールを作成し、**保存**]をクリックします。

重要: ライセンス プールを作成しない場合、マシンにライセンスは表示されません。

- i. ライセンスプールの名前を **ライセンスプール名**]に入力します。
- ii. プールに追加するライセンスの数量を **新しいプールの数 量**]に入力します。

注:必要に応じて、後でライセンスプールにさらにライセンスを追加できます。





Arcserve ライセンス ポータルのログイン ページが開きます。



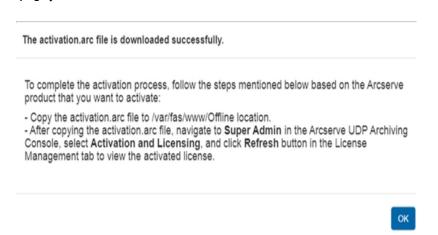
i. 登録に使用したのと同じ認証情報を使用して Arcserve ライセンスポータルにログインします。

Arcserve ライセンス ポータルのホーム ページが表 示されます。

j. ホームページの **オフライン アクティブ化**]をクリックします。



- k. 製品一覧から製品名を選択し、**ダウンロード**]をクリックします。 ativation.arc ファイルがマシンにダウンロードされます。
 - ◆ オプション **アクティブ化する製品を選択する**] に Email Archiving 製品のみが含まれる場合、以下のダイアログボックスが表示されます。



オプション アクティブ化する製品を選択する] に他の Arcserve 製品の Email Archiving が含まれる場合、以下のダイアログ ボッ

クスが表示されます。

The activation.arc file is downloaded successfully.

To complete the activation process, follow the steps mentioned below based on the Arcserve product that you want to activate:

Arcserve UDP

- Copy the activation.arc file to {UDP installation path}/Management/Configuration location. - After copying the activation arc file, navigate to Help in the Arcserve UDP Console, select Activation and Licensing, and click Refresh button in the License Management tab to view the activated license.

Arcserve Backup

- Copy the activation.arc file to {ASBU installation path}/CA/ARCserve Backup location. - After copying the activation arc file, navigate to Help in the Arcserve Backup Manager, select Manage Licenses window, and click Refresh to view the activated license.

- Arcserve UDP Archiving
 Copy the activation.arc file to /var/fas/www/Offline location.
- After copying the activation arc file, navigate to Super Admin in the Arcserve UDP Archiving Console, select Activation and Licensing, and click Refresh button in the License Management tab to view the activated license.

1. activation.arc ファイルに移動し、現在のマシンからオフラインマシンの 次のパスにファイルをコピーします。

/var/fas/www/Offline

注: 利便性のため、secure copy (scp) ツールで、UDP admin 資格情 報を使用して activation.arc ファイルをコピーすることをお勧めします。

- 7. オフライン マシンの Email Archiving コンソールで アクティベーションとライセン ス]ウィンドウを開き、 **ライセンス管理**]をクリックします。
- 8. **ライセンスの更新**]をクリックして、アクティブ化されたライセンスを確認しま す。

オフライン マシンのアクティブ化されたライセンスを確認できます。

オフライン方 式を使用した Email Archiving ライセンスのアクティブ化 が完了しまし た。

ライセンスを管理する方法

このセクションには、以下のトピックが含まれます。

- プロファイルへのライセンスの割り当て
- メールボックスへのライセンスの割り当て

プロファイルへのライセンスの割り当て

Super Admin は、Email Archiving およびライセンスを割り当てるためにすでに作成されているプロファイルをアクティブ化する必要があります。

注: 各プロファイルについて、割り当てられているライセンス数のデフォルトは0です。Super Admin は、各プロファイルに対して、必要なライセンス数を手動で割り当てる必要があります。

プロファイル、ドメイン、および管理者を作成する方法の詳細については、「<u>Email</u> Archiving の設定」を参照してください。

以下の手順に従います。

1. Email Archiving コンソールの右上から、 [super Admin] アイコンをクリックします。

複数のオプションが表示されます。

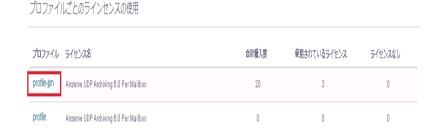
- オプションのリストで、 アクティベーションとライセンス]をクリックします。
 アクティベーションとライセンス]ページが表示されます。 製品アクティベーションの詳細]タブが表示されます。
- 3. **ライセンス管理**]タブをクリックします。

ArcserveEmail Archiving ライセンス] および プロファイルごとのラインセンスの使用] タブが表示されます。

ArcserveEmail Archiving 「ライセンス」 タブには、ライセンスについて購入済み、割り当て済み、ライセンスがない数の合計が表示されます。



4. **プロファイルごとのラインセンスの使用**]タブで、ライセンスを割り当てるプロファイルをクリックします。



ライセンスの割り当て]ダイアログボックスが表示されます。



5. **ライセンスの割り当て**] ダイアログ ボックスで、以下 のフィールドを表示 することができます。

使用可能なライセンスの合計1

メールボックスあたりの利用可能なライセンスの総数が表示されます。

プロファイルへのライセンスの割り当て]

選択したプロファイルへのライセンスの割り当てに役立ちます。

有効期限(オプション)]

特定のプロファイルに割り当てられたライセンスの有効期限を入力します。

メールボックスごとの Arcserve Email Archiving 6.0

メールボックスごとのライセンスの詳細が表示されます。

合計購入数]

特定のプロファイルに割り当てる必要があるライセンス数を入力します。

注: 購入済みライセンスの総数は、入力されたライセンス数よりも常に大きくなります。

使用されているライセンス]

特 定 のプロファイルで使 用されているライセンスの数 が表 示されます。

ライセンスなし]

ライセンスされていないメールボックスの数が表示されます。

6. 保存]をクリックしてライセンスを割り当てます。

注: プロファイルへのライセンス割り当てを解除する場合は、数値「0」を **合計購入数**]フィールドに入力し、 **保存**]をクリックします。

プロファイルに正常にライセンスが割り当てられました。

ビデオで手順を確認するには、「<u>Email Archiving のライセンスを管理する方法</u>」を クリックします。

メールボックスへのライセンスの割り当て

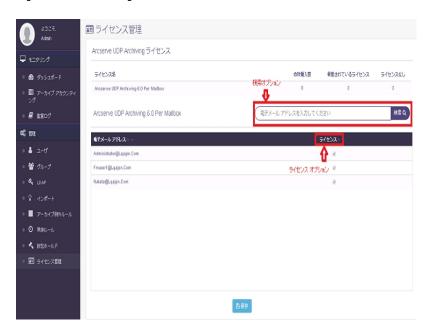
メールボックスごとの使用可能なライセンスに基づいて、Master Admin はメールボックスを管理できます。

以下の手順に従います。

- 1. Master Admin として Email Archiving にログインします。
- 2. 管理]メニューから ライセンス管理]をクリックします。

ArcserveEmail Archiving 「ライセンス」タブには、ライセンスについて購入済み、割り当て済み、ライセンスがない数の合計が表示されます。

ライセンス管理]タブが表示されます。



注:検索オプションでメールボックス名を使用して、必要なメールボックスを検索することができます。

3. ▶ ールボックスごとの Arcserve **Email Archiving 6.0**] タブで、プロファイルで使用可能なメールボックス ユーザのリストを表示できます。

注: ユーザは、リストに電子メールアドレスが表示されるように、1つ以上の電子メールを送信する必要があります。

4. 使用可能なライセンスオプションから、チェックボックスを使用して、必要に応じてライセンスの割り当てや割り当て解除を行うことができます。

5. チェック ボックス オプションを使 用してライセンスを割り当 てた後 、 **保存**]をクリックします。

注: Arcserve Email Archiving ライセンス] タブの 合計購入数] に表示される使用可能なライセンス数に基づいて、ライセンスを割り当てることができます。

重要:使用するライセンスの数が使用可能なライセンス数を超える場合は、プロファイルの割り当て済みライセンスすべてが自動的に試用期間になります。割り当て済みの余分なライセンスを手動で削除するか、追加のライセンスについて Super Admin にお問い合わせください。

メールボックスを使用して、正常にライセンスが割り当てられました。

ビデオで手順を確認するには、「<u>Email Archiving のライセンスを管理する方法</u>」を クリックします。

Arcserve Email Archiving ライセンスを非アクティブ化する方法

Arcserve 製品 アクティベーションに使用される方式に基づいて、Arcserve 製品 ライセンスをオンラインおよびオフラインで非アクティブ化できます。

注:

- サーバから Arcserve Email Archiving をアンインストールすると、すべてのライセンスが解放され、今後のインストールに使用できるようになります。
- Arcserve Email Archiving のアクティブ化と非アクティブ化では、同じモードを使用する必要があります。たとえば、オフラインの非アクティブ化を実行するには、オフラインモードを使用してライセンスをアクティブ化している必要があります。

このセクションには、以下のトピックが含まれます。

- Email Archivingオンラインでの Arcserve ライセンスの非アクティブ化
- オフラインでの Arcserve Email Archiving ライセンスの非アクティブ化

オンラインでの Arcserve Email Archiving ライセンスの 非アクティブ化

重要: Arcserve 製品のオンラインでのライセンスの非アクティブ化は、アクティブ化をオンライン方式を使用して行った場合にのみ実行できます。

以下の手順に従います。

Email Archiving コンソールの右上から、 [super Admin] アイコンをクリックします。

複数のオプションが表示されます。

- 2. オプションのリストで、**アクティベーションとライセンス**]をクリックします。 アクティベーションとライセンス]ページが表示されます。
- 非アクティブ化]をクリックします。
 確認]ダイアログ ボックスが表示されます。
- 4. **[はい**] をクリックします。

Arcserve 製品コンソールサーバからすべてのライセンスが解放され、今後使用できるようになります。

オフラインでの Arcserve Email Archiving ライセンスの非アクティブ化

重要: Arcserve 製品のオフラインでのライセンスの非アクティブ化は、アクティブ化をオフライン方式を使用して行った場合にのみ実行できます。

以下の手順に従います。

1. Email Archiving コンソールの右上から、 [super Admin] アイコンをクリックします。

複数のオプションが表示されます。

- 2. オプションのリストで、**アクティベーションとライセンス**]をクリックします。 アクティベーションとライセンス]ページが表示されます。
- オフラインで非アクティブ化]をクリックします。
 確認]ダイアログボックスが表示されます。
- 4. **[はい**]をクリックします。

offline.arc ファイルは、以下の場所に保存されています。

/var/fas/www/Offline/

5. オフライン アクティベーション プロセスで使 用したものと同じ <u>URL</u> にログインし、offline.arc ファイルをアップロードします。

次のポップアップメッセージが表示されます。

お使いの製品が正常に非アクティブ化されました。

Arcserve 製品コンソールサーバからすべてのライセンスが解放され、今後使用できるようになります。

第4章: Arcserve UDP の Arcserve ライセンスの使用

このセクションには、以下のトピックが含まれます。

Arcserve UDP ライセンスをアクティブ化 する方法	42
Arcserve UDP ライセンスを管理する方法	65
Arcserve UDP ライセンスを非アクティブ化する方法	7 1
Arcserve UDP のライセンスをアップグレード する方法	74

第4章: Arcserve UDP の Arcserve ライセンスの使用 41

Arcserve UDP ライセンスをアクティブ化 する方法

Arcserve では、さまざまな段階で Arcserve 製品 ライセンスをアクティブ化できます。 このセクションには、以下のトピックが含まれます。

- インストール後のArcserve UDPのアクティブ化
- インストール中の Arcserve UDP のアクティブ化

インストール後の Arcserve UDP のアクティブ化

Arcserve UDP は、インストール中またはインストール後にアクティブ化することができます。インストール中にアクティベーションをスキップするには、 Arcserve 製品アクティベーション] ウィンドウで スキップ] ボタンをクリックします。インストール後、ログインした後にアクティブ化するには、コンソールから トルプ] をクリックし、 Arcserve 製品アクティベーション] オプションにアクセスします。

任意で製品向上プログラムにも参加できます。

重要: Arcserve では、ノード名、IP アドレス、ログイン認証情報、ドメイン名、ネットワーク名など、個人または会社の重要な情報を収集することはありません。

Arcserve 製品のアクティブ化のプロセスは、スタンドアロン エージェントには適用されません。

注: アクティベーション後、ライセンスの割り当てや解放ができます。詳細については、「Arcserve UDP ライセンスの管理」を参照してください。

このセクションには、以下のトピックが含まれます。

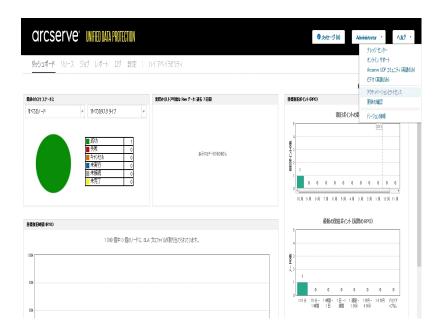
- オンラインでの Arcserve UDP ライセンスのアクティブ化
- オフラインでの Arcserve UDP ライセンスのアクティブ化
- ライセンス アクティベーションにおけるユーザの詳細の更新

オンラインでの Arcserve UDP ライセンスのアクティブ化

オンラインで Arcserve UDP をアクティブ化 するには、コンソール サーバがインターネットにアクセスできる必要 があります。

以下の手順に従います。

- 1. Arcserve UDP コンソールにログインします。
- 2. コンソールから トルプ]をクリックします。



ドロップダウンリストに複数のオプションが表示されます。

3. [ヘルプ] ドロップダウン リストのオプションで、「アクティベーションとライセンス] をクリックします。

アクティベーションとライセンス] ダイアログ ボックスが表示されます。



4. アクティベーションとライセンス]ダイアログボックスで、以下の詳細を入力します。

電子メールアドレス

電子メールアドレスを指定します。

注:この電子メールアドレスに確認用電子メールが送信されます。

名前

名前を指定します。

会社名

会社名を指定します。

電話番号

電話番号を以下の形式で指定します:

国コード-電話番号。例:000-1122334455

Order ID

Order ID を指定します。

注: Arcserve UDP をダウンロードすると、電子メールで Order ID を受け取ります。

Fulfillment Number

Fulfillment Number を指定します。

注:Arcserve UDP をダウンロードすると、電子メールで Fulfillment Number が送信されます。

注: 任意で **製品向上プログラム**] チェック ボックスをオンにして、このプログラムに参加することもできます。

重要: Arcserve がアクティベーション プロセスの中 でマシン固有 のデータを収集 することに同意します。] チェック ボックスをオンにするまで、製品 のライセンスまたはアクティベーションは行われません。

コンソールに以下のメッセージが表示されます。

Your Arcserve product activation request is submitted waiting for End User approval. (このArcserve 製品のアクティベーション リクエスト は送信されており、エンド ユーザの承認待ちです。)

指定した Order ID および Fulfillment Number が正しい場合は、確認ダイアログボックスが表示されます。

- 5. 確認ダイアログボックスで、 **(DK**)をクリックします。 登録電子メールが電子メール ID に送信されます。
- 6. Arcserve から届いた登録電子メールを開きます。
- 7. その電子メールから、アクティベーション用のリンクをクリックします。

以前 Arcserve UDP のライセンス アクティベーションを実行している場合(既存のユーザ)、下記の手順 11 に移動します。

Arcserve UDP の新規ユーザへの注意! 受信した電子メールから [アクティブ化] オプションをクリックすると、ライセンス アクティベーションが正常に完了し、アクティベーションに使用されるサーバにすべてのライセンス数が割り当てられます。 ただし、アクティベーション電子メールに記載されている複数のサーバへのライセンスの詳細な割り当でオプションを選択する場合、下記の手順が適用されます。

Arcserve の登録ページが表示され、ユーザの電子メールがすでに入力された状態で パスワードの作成] **ダイアログ ボックスが表示されます**。

- 8. **パスワードの作成**] ダイアログ ボックスで、Arcserve ライセンス ポータルのプロファイルを作成 するために希望 のパスワードを入力し、**保存**]をクリックします。
- 9. Arcserve ライセンス ポータルのパスワードを作成 すると、 **ライセンス プールの作成**] ダイアログ ボックスが表示 されます。

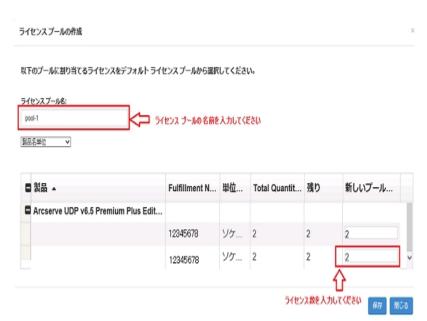


10. 次の操作を実行してライセンスプールを作成し、保存]をクリックします。

重要: ライセンス プールを作成しない場合、マシンにライセンスは表示されません。

- ライセンスプールの名前を入力します。
- プールに追加するライセンスの数量を入力します。

注:必要に応じて、後でライセンスプールにさらにライセンスを追加できます。



11. 保存]をクリックして、ライセンス アクティベーション プロセスを完了します。

Arcserve ライセンス ポータルのログイン ページが開きます。 製品 ライセンスを管理 する必要 がある場合 はログインします。

注: サブスクリプション ライセンスの終了日については、 ♪ッセージ] タブに移動し、Arcserve UDP コンソールの **詳細**]をクリックします。有効期限は、有効期限の60日前から期限後40日まで利用できます。

Arcserve UDP ライセンスがアクティブ化されました。これで、アクティブ化されたライセンスを確認できます。

Arcserve UDP ライセンスの検証

アクティブ化されたライセンスのステータスを確認できます。

以下の手順に従います。

- 1. Arcserve UDP コンソールにログインします。
- 2. コンソールから トルプ]をクリックします。
- 3. 表示される **トルプ**]オプションで、**アクティベーションとライセンス**]をクリックします。
- 4. 「アクティベーションとライセンス] ウィンド ウが開いたら、 **ライセンス管理**] タブをクリックします。

アクティブ化されたライセンスを表示できます。

オフラインでの Arcserve UDP ライセンスのアクティブ化

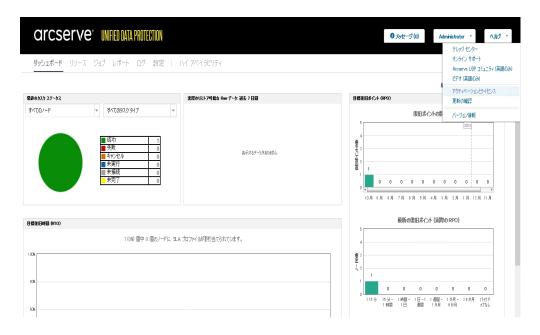
オンラインでない場合でも、Arcserve UDP をアクティブ化することができます。
Arcserve 製品がインターネットにアクセスできない場合は、オフラインアクティベーション方式に自動的にリダイレクトされます。

アクティベーションとライセンス] ダイアログ ボックスの **製品 アクティベーション**] タブで **アクティブ化**] をクリックすると、Arcserve UDP コンソールからオフライン アクティベーションが開始されます。Arcserve UDP は、オフライン アクティベーション方式が要求されたことを検知し、オフライン アクティベーションの実行を支援します。

重要:1 台 のマシンでオフラインでのアクティベーション プロセスを完 了 するには、別 のマシンでインターネット にアクセスする必 要 があります。

以下の手順に従います。

- 1. Arcserve UDP コンソールにログインします。
- 2. コンソールから **トルプ**]をクリックします。



ドロップダウン リストに複数 のオプションが表示されます。

3. **トルプ**] ドロップダウン リスト のオプションで、**アクティベーションとライセンス**] をクリックします。

アクティベーションとライセンス] ダイアログ ボックスが表 示されます。

アクティベーションとライセンス		
製品アクティベーション ライセンス	管理 トライアルの延長	
お使いの Arcserve 製品はアクティブ化されていません。		
以下の情報を入力し、[アクティブ化] をクリックしてアクティ 場合がおります。	ベーション プロセスを開始します。電子メールでアクテ	ティベーション リンクが送信されます。アクティベーション用の電子メールを受け取るまで最大で 1時間かか
リンクをクリックして Arcserve UDP をアクティグにして、オーされます。	ダーのライセンスをボータルに追加します。ご使用の間	電子メール アドレスが既存のアカウントに関連付けられていない場合は、新しいポータル アカウントが作り
* は必須フィールドを示しています		
* 電子メール アドレス	User@XYZ.com	
名前		
会社名		
電話番号		
* Order ID	123456	
* Fulfillment Number	12345678 🗙	
✓ Arcserve の製品向上 してください。	プログラムに登録して、将来の Arcserve 製品の関	開発を支援します。詳細については、Arcserve のブライバシー ポリシーを参照
✓ Arcserve がアクティベ	ーション プロセスの一環としてマシン固有のデータを地	収集することに同意します。
アクティブ化		
		開じる

4. **アクティベーションとライセンス**] ダイアログ ボックスで、以下の詳細を入力します。

電子メールアドレス

電子メールアドレスを指定します。

注:この電子メールアドレスに確認用電子メールが送信されます。

名前

名前を指定します。

会社名

会社名を指定します。

電話番号

電話番号を以下の形式で指定します:

国コード-電話番号。例: 000-1122334455

Order ID

Order ID を指定します。

注: Arcserve UDP をダウンロードすると、電子メールで Order ID を受け取ります。

Fulfillment Number

Fulfillment Number を指定します。

注: Arcserve UDP をダウンロードすると、電子メールで Fulfillment Number が送信されます。

注:任意で 製品向上プログラム] チェック ボックスをオンにして、このプログラムに参加することもできます。

重要: Arcserve がアクティベーション プロセスの中 でマシン固有 のデータを収集することに同意します。] チェック ボックスをオンにするまで、製品 のライセンスまたはアクティベーションは行われません。

- 「アクティブ化]をクリックします。
 「アクティベーションとライセンス] ウィンド ウが開きます。
- 6. 製品アクティベーション]タブの保存]をクリックします。

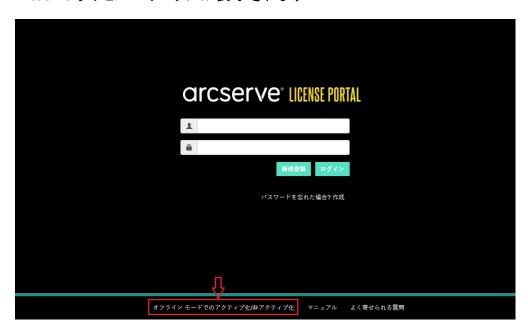
重要: オフラインでのアクティベーション プロセスを完了 するには、以下に示された 次の手順に従ってください。

offline.arc ファイルは、以下の場所に保存されています。

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Management\Configuration

- 7. オンラインマシンで次の手順に従います。
 - a. インターネット にアクセスできるマシンに offline.arc ファイルをコピーし、同じマシンで次の URL を開きます。

https://www.arcserve-register.com/AERPEndUserPortal/index.html#/Arcserve ライセンス ポータルが表 示されます。



b. ログイン ページで **オフライン モード でのアクティブ化 / 非 アクティブ化**] をクリックします。

オフラインアクティベーションのページが開きます。



- c. 保存した offline.arc ファイルをオフライン アクティベーションのページにドラッグアンド ドロップします。
- d. **アップロード**]をクリックします。

次のポップアップメッセージが表示されます。

製品のアクティベーションがほぼ完了しました。電子メールアドレスに送信された電子メールのリンクに従って、製品のアクティベーションを完了してください。

注: 使用するブラウザの種類によって、画面に表示されるポップアップメッセージの位置が変わる場合があります。



e. アクティベーションに指定した電子メールアドレスを開きます。

Arcserve の登録の電子メールを確認できます。

f. その電子メールから、アクティベーション用のリンクをクリックします。

Arcserve の登録ページが開きます。ユーザの電子メールがすでに入力された状態で **パスワードの作成**] ダイアログ ボックスが表示されます。

注: アクティベーションを完了するには、このリンクで Arcserve ライセンスポータルのプロファイルを作成する必要があります。 プロファイルを作成するには、パスワードを入力し、ライセンスプールを1つ作成する必要があります。

g. **パスワードの作成**]ダイアログボックスで、希望のパスワードを入力し、**保** 存]をクリックします。

ライセンス プールの作成]ダイアログ ボックスが表示されます。

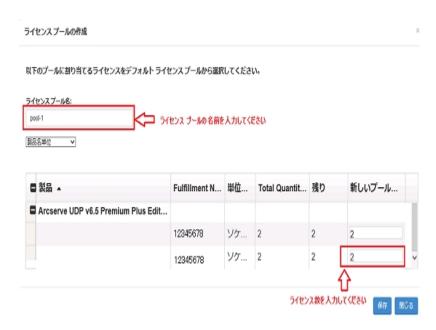


h. 次の操作を実行してライセンスプールを作成し、保存]をクリックします。

重要: ライセンス プールを作成しない場合、マシンにライセンスは表示されません。

- ライセンスプールの名前を入力します。
- プールに追加するライセンスの数量を入力します。

注: 必要に応じて、後でライセンスプールにさらにライセンスを追加できます。



Arcserve ライセンス ポータルのログイン ページが表 示されます。

arcserve [®] <u>License Portal</u>
1
新規登録 ログイン
パスワードを忘れた場合?作成
オフライン モードでのアクティブ化/非アクティブ化 マニュアル よく寄せられる質問

i. 登録に使用したのと同じ認証情報を使用して Arcserve ライセンス ポータルにログインします。

Arcserve ライセンス ポータルのホーム ページが表 示されます。

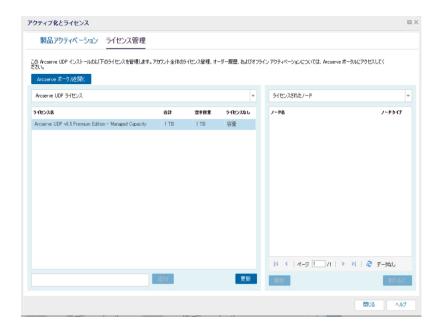
j. ホームページの **オフライン アクティブ化**]をクリックします。



- k. 製品一覧から製品名を選択し、**ダウンロード**]をクリックします。 ativation.arc ファイルがマシンにダウンロードされます。
- I. activation.arc ファイルに移動し、現在のマシンからオフラインマシンの次のパスにファイルをコピーします。
 - C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Management\Configuration
- 8. オフライン マシンの Arcserve UDP コンソールで「アクティベーションとライセンス] ウィンドウを開き、 **ライセンス管理**]をクリックします。

オフラインマシンのアクティブ化されたライセンスを確認できます。

注: サブスクリプション ライセンスの終了日については、「メッセージ] タブに移動し、Arcserve UDP コンソールの **詳細**]をクリックします。有効期限は、有効期限の60日前から期限後40日まで利用できます。

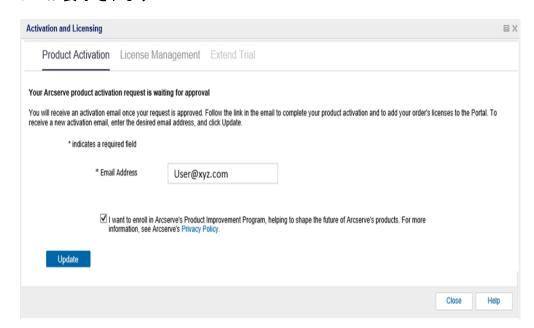


オフライン方式を使用した Arcserve UDP ライセンスのアクティブ化が完了しました。

ライセンス アクティベーションにおけるユーザの詳 細 の 更 新

アクティベーション中に入力した電子メール ID を更新することができます。 以下の手順に従います。

- 1. コンソールにログインします。
- 2. **トルプ**]をクリックし、**アクティベーションとライセンス**]を選択します。 **アクティベーションとライセンス**] ダイアログ ボックスが開き、現在の電子メール アドレスが表示されます。



3. 電子メールアドレスを変更し、**更新**]をクリックします。 ポップアップメッセージに、更新した情報の確認が表示されます。



4. **DK**]をクリックします。

Arcserve 製品アクティベーション]ダイアログボックスで更新情報を確認できます。

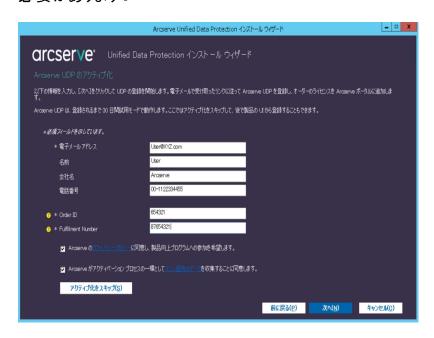
インストール中の Arcserve UDP のアクティブ化

製品のアクティブ化に選択したインストーラに基づいて、Arcserve UDP をアクティブ化できます。このセクションには、以下のトピックが含まれます。

- 単一インストーラを使用した Arcserve UDP のアクティブ化
- セット アップ インストーラを使用した Arcserve UDP のアクティブ化

単一インストーラを使用した Arcserve UDP のアクティブ化

Arcserve 製品のインストール時に、以下に示すように、単一インストーラの 製品 アクティベーション]画面で詳細を入力して、アクティベーションプロセスを開始する必要があります。



以下の情報を入力します。

電子メールアドレス

電子メールアドレスを指定します。

注:この電子メールアドレスに確認用電子メールが送信されます。

名前

名前を指定します。

会社名

会社名を指定します。

電話番号

電話番号を以下の形式で指定します:

国コード-電話番号。例: 000-1122334455

Order ID

Order ID を指定します。

注: Arcserve UDP をダウンロードすると、電子メールで Order ID を受け取ります。

Fulfillment Number

Fulfillment Number を指定します。

注: Arcserve UDP をダウンロードすると、電子メールで Fulfillment Number が送信されます。

アクティブ化をスキップ

コンソールからライセンスをアクティブ化する場合は、「アクティブ化をスキップ]を クリックします。

重要: Arcserve がアクティベーション プロセスの中 でマシン固有 のデータを収集 することに同意します。] オプションをオンにするまで、製品 のライセンスまたはアクティベーションは行われません。

セットアップ インストーラを使用して Arcserve UDP をアクティブ化する方法

Arcserve 製品のインストール時に、以下に示すように、セットアップ インストーラの 製品アクティベーション]画面で詳細を入力して、アクティベーション プロセスを開始する必要があります。

Arcserve Unified Data Protection セットアップ		
arcserve*	unified data protection	
 使用計耗契約 製品アクティベーション インストールの種類 デスティネーションフォルダ 環境設定 フィアウォールの例外 メッセージ サマリ インストールの進捗状況 インストールレポート 	Arcserve 製品アクティベーション 以下の情報を入力し、たべいをグックすると、UDPの登録/開始されます。受け取った電子メール内のリンカから Arcserve UDP を登録 し、ターダーのライゼン人を Arcserve ボータルに追加します。 Arcserve UDP は、登録されるまで 30 日間試用モードで動作します。ここではアクティブ化をスキップし、後で製品の UI から登録すること もできます。 ・ 電子メール アドレス 名前 会社名 電路番号 ・ Order ID ・ Fulfillment Number Arcserve の製品向上プログラムに登録して、将来の Arcserve 製品の開発を支援します。詳知については、Arcserve のプライバシーボリン―を参照してください。 Arcserve がアクティベーション プロセスの一環としてマシン服者のデータを収集することに同意します。	
製品値軽 リリースノート ナレッジ センター		
パージョン 6.5 (ビルド 4175)	< 戻る(6) 次△(N) > スキップ	

注:電子メールアドレス、Order ID、および Fulfillment Number は必須フィールドです。その他のフィールドはすべてオプションです。

以下の情報を入力します。

名前

名前を指定します。

会社名

会社名を指定します。

電話番号

電話番号を以下の形式で指定します:

国コード-電話番号。例: 000-1122334455

電子メールアドレス

電子メールアドレスを指定します。

注:この電子メールアドレスに確認用電子メールが送信されます。

Order ID

Order ID を指定します。

注: Arcserve UDP をダウンロードすると、電子メールで Order ID を受け取ります。

Fulfillment Number

Fulfillment Number を指定します。

注: Arcserve UDP をダウンロードすると、電子メールで Fulfillment Number が送信されます。

重要: Arcserve がアクティベーション プロセスの中 でマシン固有 のデータを収集 することに同意します。] オプションをオンにするまで、製品 のライセンスまたはアクティベーションは行われません。

Arcserve UDP ライセンスを管理する方法

Arcserve を使用して、Arcserve UDP コンソールに追加されるすべての種類のバックアップソースノードのライセンスを一元管理できます。このライセンスモデルでは、1つの包括的なライセンスが付与され、ライセンスプール内でアクティブなライセンス権限の数が事前に定義されます。

Arcserve 製品では、すべてのリリースで SDK ライセンスがインストールされます。手動で再インストール、アップグレード、またはアンインストールできます。詳細については、「ライセンス SDK をインストールおよびアンインストールする方法」を参照してください。

ライセンスを管理することで、ライセンスの割り当て、解放、および確認を行うことができます。

利用可能なライセンスの合計数がなくなるまで、ライセンスプールからアクティブな ライセンスが新しいユーザごとに先着順で付与されます。アクティブなライセンスが すでにすべて使用中で、新しいサーバ用にライセンスをアクティブ化する場合、ライ センスされたサーバの1つから手動でライセンスを解放し、その解放されたライセン スを、新しく追加されたサーバに割り当てる必要があります。

注: 利用できるライセンスがない場合は、アクティビティ ログにエラー メッセージが表示されます。

ライセンス権限は簡単に削除して、他のサーバがライセンス権を適用できるようにすることが可能です。コンソールから、 ライセンス管理]ダイアログ ボックスにアクセスし、各コンポーネントのアクティブなライセンス数を表示できます。 Arcserve UDP コンソールを使用して、適用されたライセンスを管理することもできます。

この後の手順

- ■前提条件の確認
- ライセンスの割り当て
- ノードからのライセンスの解放
- ライセンスの確認

前提条件の確認

ライセンスを管理する前に以下の前提条件を確認します。

- Arcserve UDP がインストールされていること。
- 有効なオーダー ID およびフルフィルメント番号があること。
- サポートされているオペレーティングシステム、データベース、およびブラウザが 含まれている「動作要件」を確認します。

ライセンスの割り当て

Arcserve UDP はライセンスされたノードのみを保護します。十分なライセンスがある場合、ライセンスはノードに自動的に適用されます。ノードを保護しない場合は、その特定のノードからライセンスを解放し、解放されたライセンスを使用して他のノードを保護できます。

以下の手順に従います。

- 1. Arcserve UDP コンソールにログインします。
- 2. **トルプ**] メニューをクリックし、**アクティベーションとライセンス**] を選択します。 **アクティブ化 とライセンス**] ダイアログ ボックスが表示されます。
- 3. このダイアログ ボックスで、 **ライセンス管理**] タブをクリックします。



コンソール サーバの左側 のペインに、利用可能なライセンスが表示されます。

注:

- エージェントレス(またはホスト ベース)のバックアップの場合、 ライセンス管理]ウィンドウの下のノードタイプは、使用タイプに基づいてハイパーバイザまたは仮想マシンとして表示されます。
- エージェント ベースのバックアップの場合、 「ライセンス管理] ウィンドウの下のノード タイプは、仮想 マシンがエージェント ベースの Linux または Windows ノードとして追加されていても、Windows または Linux として表示されます。

重要: エージェント ベースのバックアップについての上記の動作は、エージェント ベースのノードで仮想マシンのライセンスが使用されている場合も同じです。

4. 右側のペインで、ドロップダウンリストから ライセンスなしのノード]を選択し、**割り当て**]をクリックします。

ライセンスはノードに割り当てられます。

ノードからのライセンスの解放

ノードを保護しない場合は、そのノードのライセンスを解放します。必要に応じて、 解放されたライセンスを使用してその他のノードを保護できます。

以下の手順に従います。

- 1. コンソールにログインします。
- 2. **トルプ**]をクリックし、**アクティベーションとライセンス**]を選択します。 **アクティブ化とライセンス**]ダイアログボックスが表示されます。
- 3. 右ペインで、ドロップダウン リストから **ライセンスされたノード**]を選択します。 ライセンスされたノードのリストが表示されます。



- 4. 表示されたリストからノードを選択し、解放]をクリックします。
- 5. **アクティブ化 とライセンス**] ダイアログ ボックスを閉じて、再度 開きます。 ライセンスはノード から削除されます。

ライセンスの確認

ノードに適切なライセンスが適用されるかどうかを確認するには、ライセンスされた ノードに対してバックアップ ジョブを実行します。 バックアップ ジョブが成功 すると、ライセンスがノードに適用されます。

Arcserve UDP ライセンスを非アクティブ化 する方法

Arcserve 製品アクティベーションに使用される方式に基づいて、Arcserve 製品ライセンスをオンラインおよびオフラインで非アクティブ化できます。

注:

サーバから Arcserve UDP をアンインストールする場合、すべてのライセンスは自動的には解放されません。別のサーバ上での今後のインストールでライセンスを使用できるようにするには、Arcserve UDP をアンインストールする前に製品を非アクティブ化してください。

同じサーバ上に再インストールする場合、再インストール後に製品のライセンスが更新されます。再アクティブ化する必要はありません。非アクティブ化を実行せずにArcserve UDP をアンインストール済みで、別のサーバに再インストールする計画がある場合は、サポートに問い合わせてライセンスを非アクティブ化し、今後のインストールで使用できるようにしてください。

■ Arcserve UDP のアクティブ化と非アクティブ化では、同じモードを使用する必要があります。たとえば、オフラインの非アクティブ化を実行するには、オフラインモードを使用してライセンスをアクティブ化している必要があります。

このセクションには、以下のトピックが含まれます。

- オンラインでの Arcserve UDP ライセンスの非アクティブ化
- オフラインでの Arcserve UDP ライセンスの非アクティブ化

オンラインでの Arcserve UDP ライセンスの非アクティブ 化

重要: Arcserve 製品のオンラインでのライセンスの非アクティブ化は、アクティブ化をオンライン方式を使用して行った場合にのみ実行できます。

以下の手順に従います。

- 1. Arcserve UDP コンソールにログインします。
- 2. **トルプ**]をクリックし、**アクティベーションとライセンス**]を選択します。 **アクティブ化とライセンス**]ダイアログボックスが表示されます。



3. **非アクティブ化**]をクリックします。

Arcserve UDP の非アクティブ化]確認ダイアログボックスが表示されます。



4. **[はい**]をクリックします。

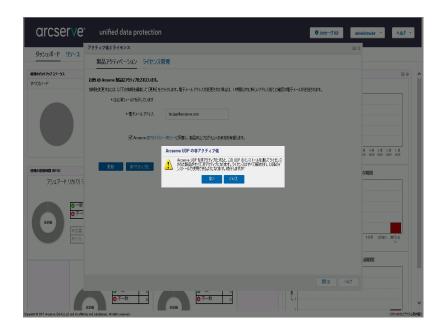
Arcserve 製品コンソールサーバからすべてのライセンスが解放され、今後使用できるようになります。

オフラインでの Arcserve UDP ライセンスの非アクティブ 化

重要: Arcserve 製品のオフラインでのライセンスの非アクティブ化は、アクティブ化をオフライン方式を使用して行った場合にのみ実行できます。

以下の手順に従います。

- 1. Arcserve UDP コンソールにログインします。
- 2. **トルプ**]をクリックし、**アクティベーションとライセンス**]を選択します。 アクティベーションとライセンス]ダイアログボックスが表示されます。
- 3. **オフラインで非アクティブ化**]をクリックします。 確認 のダイアログ ボックスが表 示されます。



注: オンライン方式を使用して製品がアクティブ化された場合は、確認のダイアログボックスの代わりに、以下のメッセージを受け取ります。

登録していたださ、初かたございました。製品プライベーシュルを完了するには、下記のアドレスに送信された確認用電子メールに記載されているリンクをクリックしてください。製品ライセンスをアウティブにすること ができません。インターネットに接続していることを確認してください。

- 4. 確認のダイアログ ボックスで **[はい**]をクリックして、オフラインで非アクティブ化します。
 - offline.arc ファイルは、以下の場所に保存されています。
 - C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Management\Configuration

5. オフライン アクティベーション プロセスで使用したものと同じ URL にログインし、 offline.arc ファイルをアップロードします。

次のポップアップメッセージが表示されます。

お使いの製品が正常に非アクティブ化されました。

注: 使用するブラウザの種類によって、画面に表示されるポップアップ メッセージの 位置が変わる場合があります。



Arcserve UDP コンソールで非アクティブ化されたライセンスを確認するには、「アクティベーションとライセンス] ウィンドウに移動し、製品アクティベーション] タブを表示します。

Arcserve UDP のライセンスをアップグレードする方法

Arcserve では、新しいバージョンが利用可能な場合にArcserve 製品のライセンスをアップグレードできます。

すでにアクティブ化されている Arcserve UDP 8.x または 9.x から Arcserve UDP 10.0 にアップグレードできます。

以下の手順に従います。

1. 新しいライセンス証明書をリクエストするには、「Arcserve UDP の無償(FOC) アップグレード」を参照してください

注:

- アクティブなメンテナンス期間内にのみリクエストが可能です。
- FOC (無償) ライセンス証明書を受け取った後は、製品の新規ライセンス アクティベーションは必要ありません。
- 2. アップグレードされた製品 バージョンに対応する新しいライセンス証明書を追加します。 追加する方法の詳細については、「<u>オーダーの追加</u>」を参照してください。

アップグレード されたサーバに関連付けられている既存のライセンス プールにコンテンツを割り当てることができます。

- 1 つ以上のサーバにライセンスを割り当てることができます。
 - 1 つのサーバへのライセンスの割り当て: 「<u>オーダーの追加</u>」の手順 3 を実行して、アップグレードしたサーバに関連付けられたライセンス プール名を選択します。

下記の図で、ライセンスプール「test」はサーバ「WIN」に関連付けられており、このサーバは最新バージョンにアップグレードされています。



■ 複数のサーバ上でのライセンスの割り当て:「オーダーの追加」の手順3で、最初にライセンスをデフォルトプールに割り当てます。次に、それぞれのライセンスプールを変更して、必要な数の新しいライセンスを追加します。

注: サーバは、異なるライセンスプールまたは異なるユーザのいずれかに属することができます。

3. 以下のいずれかの手順を実行して、サーバ用に追加されたライセンスを確認します。

- オンライン モード アップグレードされたコンソールの ライセンス管理] タブで **更新**]をクリックします。
- オフライン モード 「<u>オーダーの追加</u>」の手順3の**注**に記載されている手順に従います。

第5章: Arcserve Backup に対する Arcserve ライセンスの使用

関連する Arcserve ライセンスを使用するには、Arcserve Backup をアクティブ化する必要があります。 Arcserve Backup をアクティブ化した後、適格なライセンスがダウンロードされ、Arcserve Backup サーバで使用可能になります。

このセクションには、以下のトピックが含まれます。

Arcserve Backup ライセンスをアクティブ化する方法	78
Arcserve Backup ライセンスを管理する方法	94
Arcserve Backup ライセンスを非アクティブ化する方法	100
Arcserve Backup のライセンスをアップグレード する方法	105

第5章: Arcserve Backup に対する Arcserve ライセンスの使用 77

Arcserve Backup ライセンスをアクティブ化 する方法

重要:このプロセスは、Arcserve Backup r17.5 以降でのみ使用できます。

Arcserve Backup の古いバージョンのエージェントをアクティブ化するには、「<u>以前の</u>バージョンのエージェントに Arcserve Backup ライセンスを適用する方法」を参照してください。

Arcserve では、インストール後に Arcserve Backup をアクティブ化 できます。インストール後、Backup コンソールから ArcserveArcserve 製品 アクティベーション] オプションに直接 アクセスできます。

注:

- Arcserve では、ノード名、IP アドレス、ログイン認証情報、ドメイン名、ネットワーク名など、個人または会社の重要な情報を収集することはありません。
- Arcserve 製品のアクティブ化のプロセスは、スタンドアロンエージェントには適用されません。
- アクティベーション後、ライセンスの割り当てや解放を行うことができます。

詳細については、「<u>Arcserve ライセンスの管理</u>」を参照してください。 このセクションには、以下のトピックが含まれます。

- オンラインでの Arcserve Backup ライセンスのアクティブ化
- オフラインでの Arcserve Backup ライセンスのアクティブ化
- ライセンス アクティベーションにおけるユーザの詳細の更新
- 以前のバージョンのエージェントに Arcserve Backup ライセンスを適用する方法

オンラインでの Arcserve Backup ライセンスのアクティブ 化

重要:このプロセスは、Arcserve Backup r17.5 以降でのみ使用できます。

Arcserve Backup の古いバージョンのエージェントをアクティブ化するには、「<u>以前のバージョンのエージェントに Arcserve Backup ライセンスを適用する方法</u>」を参照してください。

Arcserve Backup を Arcserve Backup マネージャからオンラインでアクティブ化 することができます。

注: Arcserve Backup がアクティブでない場合は、右上隅にメッセージが表示されます。

以下の手順に従います。

- 1. Arcserve Backup マネージャにログインします。
- 2. **トルプ**]をクリックします。



ドロップダウンリストに複数のオプションが表示されます。

3. **ヘルプ**] ドロップダウン リスト のオプションで、 **Arcserve 製品 アクティベーション ン**] をクリックします。

Arcserve 製品のアクティブ化	×
この Arcserve 製品はアクティブ化されていません 下記の情報を入力して「アクティブ化」をクリック れます。このメールが届くまでに最大 1 時間かた	・ すると、アクティブ化のプロセスが開始します。アクティブ化のリンクが電子メールで送信さ
リンクをクリックして Arcserve Backup をアクティ 存のポータル アカウントがない場合は、新しい7	ブ化し、オーダーのライセンスをボータルに追加します。電子メール アドレスに対応する既 プカウントが作成されます。
* は必須フィールドを示します	
*電子メール アドレス	
名前	
会社	
電話番号	
*Order Id	
*Fulfillment Number	
	、将来の Arcserve の製品開発を支援します。 Arcserve のブライバシー ポリシー
☑ Arcserve がアクティブ化ブロセスの一環とし	て マシン回有データ を収集することに同意します。
アクティブ(L(A) 非アクティブ(L(D)	閉じる(G) へルブ(H)

4. **Arcserve 製品アクティベーション**] ダイアログ ボックスで、以下 の詳 細を入力します。

電子メールアドレス

電子メールアドレスを指定します。

注:この電子メールアドレスに確認用電子メールが送信されます。

名前

名前を指定します。

会社名

会社名を指定します。

電話番号

電話番号を以下の形式で指定します:

国コード - 電話番号。例: 000-1122334455

オーダーID

Order ID を指定します。

注: Order ID は、Arcserve Backup のダウンロードまたは購入後に受信した電子メールに記載されています。

フルフィルメント番号

Fulfillment Number を指定します。

注: Fulfillment Number は、Arcserve Backup のダウンロードまたは購入後に受信した電子メールに記載されています。

重要: Arcserve がアクティベーション プロセスの中 でマシン固有 のデータを 収集 することに同意します。] オプションをオンにするまで、製品 のライセンス またはアクティベーションは行われません。

- 5. **アクティブ化**]をクリックします。
- 確認メッセージで **(DK**)をクリックします。
 アクティベーション リンクが電子メールで送信されます。
- 7. Arcserve からの登録メールを参照できる電子メールを確認します。
- 8. その電子メールから、アクティベーション用のリンクをクリックします。

以前 Arcserve Backup のライセンス アクティベーションを実行している場合 (既存のユーザ)、下記の手順 11に移動します。

Arcserve Backup の新規ユーザへの注意: 受信した電子メールから 「アクティブ化] オプションをクリックすると、ライセンス アクティベーションが正常に完了し、アクティベーションに使用されるサーバにすべてのライセンス数が割り当てられます。 ただし、アクティベーション用の電子メールに記載されている複数のサーバへのライセンスの詳細な割り当でオプションを選択する場合、下記の手順が適用されます。

Arcserve の登録ページが表示され、ユーザの電子メールがすでに入力された状態で パスワードの作成] ダイアログ ボックスが表示されます。

注: アクティベーションを完了するには、このリンクで Arcserve ライセンス ポータルのプロファイルを作成する必要があります。 プロファイルを作成するには、パスワードを入力し、ライセンス プールを 1 つ作成する必要があります。

- 9. **【パスワードの作成**】ダイアログ ボックスで、Arcserve ライセンス ポータルのプロファイルを作成 するために希望 のパスワードを入力します。
- 10. 保存]をクリックします。

ライセンス プール] ダイアログ ボックスが表 示されます。

11. ライセンス プールの名 前を指定し、プールに含めるライセンスの数を指定します。

注:必要に応じて、後でライセンスプールにさらにライセンスを追加できます。

12. 保存]をクリックして、ライセンス アクティベーション プロセスを完了します。

Arcserve ライセンス ポータルのログイン ページが開きます。ポータルにログインして、必要に応じて Arcserve 製品 のライセンスを管理できます。

Arcserve Backup ライセンスがアクティブ化されました。これで、アクティブ化されたライセンスを確認できます。

Arcserve Backup ライセンスの確認

アクティブ化されたライセンスのステータスを確認できます。

以下の手順に従います。

- 1. Arcserve Backup マネージャにログインします。
- 2. コンソールから **トルプ**]をクリックします。
- 3. 表示される トルプ]オプションで、バージョン情報]をクリックします。
- 4. バージョン情報]で、 ライセンスの管理]をクリックします。

アクティブ化されたライセンスを表示できます。

たとえば、少なくとも 1 つのバックアップを実行した後に、ベース ライセンス数 が **ライセンスの管理**]の下に表示されます。同様に、テープ ライブラリへのバックアップでは、Tape Library Option のライセンス数のみが **ライセンスの管理**]の下に表示されます。

オフラインでの Arcserve Backup ライセンスのアクティブ 化

重要:このプロセスは、Arcserve Backup r17.5 以降でのみ使用できます。

オンラインでない場合でも、Arcserve Backup をアクティブ化することができます。オフラインの場所から Arcserve 製品を使用する場合は、オフライン アクティベーション方式に自動的にリダイレクトされます。

オフライン アクティベーションは、 Arcserve 製品 アクティベーション] ウィンドウで アクティブ化]をクリックすると開始されます。 Arcserve Backup は、オフライン アクティベーション方式 が要求されたことを検知し、オフライン アクティベーションの実行を支援します。

注: 1 つのマシンでオフライン アクティベーション プロセスを完 了 するには、別 のマシンでインターネット にアクセスする必 要 があります。

以下の手順に従います。

- 1. Arcserve Backup マネージャにログインします。
- 2. Arcserve Backup マネージャの トルプ]をクリックします。



ドロップダウンリストに複数のオプションが表示されます。

3. **トルプ**]ドロップダウン リストのオプションで、 Arcserve 製品 アクティベーション]をクリックします。

Arcserve 製品アクティベーション]ダイアログボックスが開きます。

Arcserve 製品のアクティブ化	×
この Arcserve 製品はアクティブ化されていません	
ト記の情報を人力して レクティフドン をクリック れます。このメールが届くまでに最大 1 時間かり	すると、アクティブ化のプロセスが開始します。アクティブ化のリンクが電子メールで送信さ いることがあります。
リンクをクリックして Arcserve Backup をアクティ 存のボータル アカウントがない場合は、新しい	プ化し、オーダーのライセンスをボータルに追加します。電子メール アドレスに対応する既 プカウントが作成されます。
* は必須フィールドを示します	
*電子メール アドレス	
名前	
会社	
電話番号	
*Order Id	
*Fulfillment Number	
	、将来の Arcserve の製品開発を支援します。 Arcserve のブライバシー ポリシー
☑ Arcserve がアクティブ化プロセスの一環とし	て <u>マシン面有データ</u> を収集することに同意します。
アクティブ(上(A) 非アクティブ(上(D)	閉じる(G) へルプ(H)

4. **Arcserve 製品 アクティベーション**] ダイアログ ボックスで、以下 の詳 細を入力します。

電子メールアドレス

電子メールアドレスを指定します。

注:この電子メールアドレスに確認用電子メールが送信されます。

名前

名前を指定します。

会社名

会社名を指定します。

電話番号

電話番号を以下の形式で指定します:

国コード-電話番号。例: 000-1122334455

Order ID

Order ID を指定します。

注: Arcserve Backup をダウンロードまたは購入すると、電子メールで Order ID を受け取ります。

Fulfillment Number

Fulfillment Number を指定します。

Arcserve Backup をダウンロードまたは購入すると、電子メールで Fulfillment Number が送信されます。

5. **アクティブ化**]をクリックします。

Arcserve オフライン アクティベーションのウィンドウが開きます。

6. 保存]をクリックします。

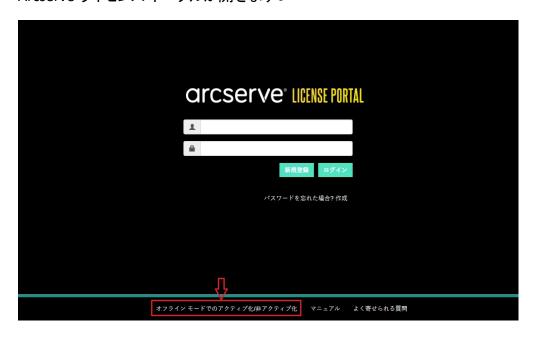
offline.arc ファイルは、以下の場所に保存されています。

C:\Program Files (x86)\CA\ARCserve Backup\

重要: Arcserve がアクティベーション プロセスの中 でマシン固有 のデータを収集 することに同意します。] オプションをオンにするまで、製品 のライセンスまたはアクティベーションは行われません。

- 7. オンラインマシンで次の手順に従います。
 - a. インターネット にアクセスできるマシンに offline.arc ファイルをコピーし、同じマシンで次の URL を開きます。

https://www.arcserve-register.com/AERPEndUserPortal/index.html#/Arcserve ライセンス ポータルが開きます。



b. ログインページで **オフライン モードでのアクティブ化/非アクティブ化**]をクリックします。

オフラインアクティベーションのページが開きます。



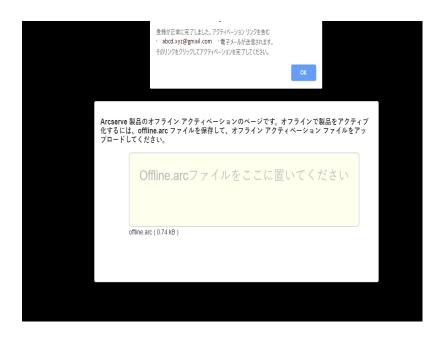
c. 保存した offline.arc ファイルをオフライン アクティベーションのページにドラッグ アンド ドロップします。

正常にアップロードされると、 アップロード] ボタンが表示されます。

d. **アップロード**]をクリックします。

次のポップアップメッセージが表示されます。

注: 使用するブラウザの種類によって、画面に表示されるポップアップメッセージの位置が変わる場合があります。



- e. アクティベーションに指定した電子メールアドレスを開きます。 Arcserve 登録の電子メールを確認できます。
- f. その電子メールから、アクティベーション用のリンクをクリックします。

Arcserve の登録ページが開きます。ユーザの電子メールがすでに入力された状態で **パスワードの作成**] ダイアログ ボックスが表示されます。

注: アクティベーションを完了するには、このリンクで Arcserve ライセンスポータルのプロファイルを作成する必要があります。プロファイルを作成するには、パスワードを入力し、ライセンスプールを1つ作成する必要があります。

g. **パスワードの作成**]ダイアログボックスで、希望のパスワードを入力し、**保** 存]をクリックします。

ライセンス プール] ダイアログ ボックスが表 示されます。



h. 次の操作を実行してライセンスプールを作成し、**保存**]をクリックします。

重要: ライセンス プールを作成しない場合、マシンにライセンスは表示されません。

- ライセンスプールの名前を入力します。
- プールに追加するライセンスの数量を入力します。

注:必要に応じて、後でライセンスプールにさらにライセンスを追加できます。

Arcserve ライセンス ポータルのログイン ページが開きます。



i. 登録に使用したものと同じ資格情報を使用して Arcserve ライセンス ポータ ルにログインします。

Arcserve ライセンス ポータルのホーム ページが表 示されます。

- j. ホーム ページの **オフライン アクティブ化**]をクリックします。 正常にアクティブ化されると、 **オ**フライン アクティブ化]ボタンが表示されます。
- k. 製品一覧から製品名を選択し、**ダウンロード**]をクリックします。 ativation.arc ファイルがマシンにダウンロードされます。
- I. activation.arc ファイルに移動し、現在のマシンからオフライン マシンの次のパスにファイルをコピーします。
 - C:\Program Files (x86)\CA\ARCserve Backup\
- 8. オフライン マシンの Arcserve バックアップ マネージャで トルプ]ドロップダウン リストの Arcserve Backup のバージョン情報]をクリックします。

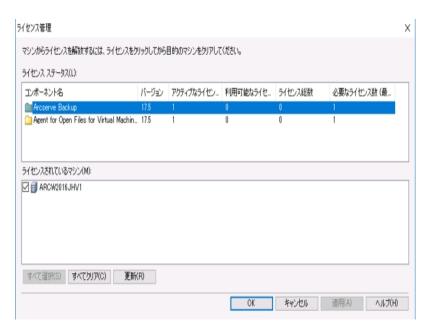
Arcserve Backup のバージョン情報] ウィンドウが開きます。



9. **ライセンスの管理**]をクリックします。

ライセンス管理]ウィンドウが開きます。

注: アクティブ化されたライセンスを表示するには、少なくとも 1 つのバックアップ ジョブを送信する必要があります。



10. 更新]をクリックして、アクティブ化されたライセンスを表示します。

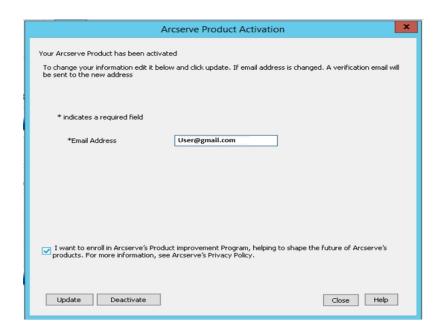
オフライン方 式を使用した Arcserve Backup ライセンスのアクティブ化 が完了しました。

ライセンス アクティベーションのユーザの詳細を更新する方法

アクティベーション中に入力した電子メールIDを更新することができます。

注: オンライン アクティブ化 についてのみ電子メール ID を更新 することができます。

- 1. Arcserve Backup マネージャにログインします。
- 2. **ヘルプ**]をクリックし、 Arcserve 製品アクティベーション]を選択します。
- 3. **Arcserve 製品アクティベーション**] ダイアログ ボックスが開き、現在の電子メールアドレスが表示されます。



- 4. 電子メールアドレスを置き換えて、**更新**]をクリックします。 ポップアップメッセージに、更新した情報の確認が表示されます。
- 5. **(DK**) をクリックします。

注:入力した電子メールアドレスは、Arcserve からのすべての情報のやり取りに使用されます。

以前のバージョンのエージェントへの Arcserve Backup ライセンスの適用

Arcserve Backup マネージャは、以前のバージョンのエージェントに対するライセンスの適用をサポートしていません。

以下の手順で25桁のライセンスキーを指定することで、以前のバージョンのエージェントのライセンスを取得できます。

例:

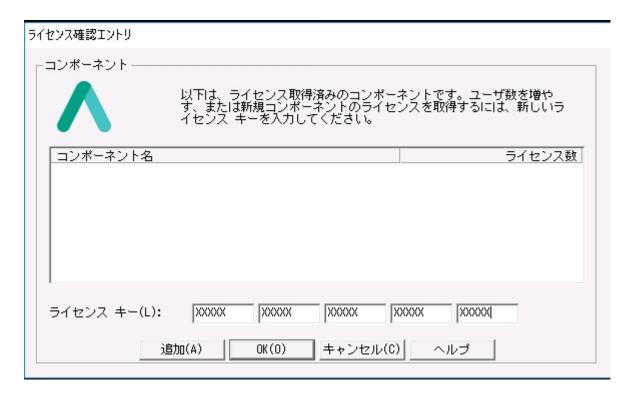
r17.0 クライアント エージェント または r16.5 UNIX エージェント に対して r17.5 バー ジョンからライセンスを適用するには、次の場所にある *CALicnse.exe* を実行する必要があります。

C:\Program Files (x86)\Arcserve \SharedComponents \CA_LIC\CALicnse.exe

以下の手順に従います。

- 1. 次のパスに移動して CALicnse.exe を開きます。
 - C:\Program Files (x86)\Arcserve\SharedComponents\CA_LIC

 [icense Verification Entry(ライセンス確認入力)] ダイアログ ボックスが表示されます。



2. 25 桁 のライセンス キーを入力し、 **DK**]をクリックします。

注: ライセンス キーを取得するには、サポートにお問い合わせください。 以前のバージョンの Arcserve Backup エージェントに対して正常にライセンス が適用されました。

Arcserve Backup ライセンスを管理する方法

Arcserve を使用して、Arcserve Backup マネージャに追加されるすべての種類の バックアップ ソース ノードのライセンスを一元管理できます。このライセンス モデルでは、ライセンス プール全体に含まれる事前に定義されたアクティブなライセンス権限の数に基づいて、1 つのライセンスがすべてのアプリケーションに提供されます。

Arcserve 製品では、すべてのリリースで SDK ライセンスがインストールされます。手動で再インストール、アップグレード、またはアンインストールできます。詳細については、「ライセンス SDK をインストールおよびアンインストールする方法」を参照してください。

Arcserve Backup ライセンスを管理することで、ライセンスの割り当て、解放、および確認を行うことができます。

利用可能なライセンスの合計数がなくなるまで、ライセンスプールからアクティブな ライセンスが新しいユーザごとに先着順で付与されます。アクティブなライセンスが すでにすべて使用中で、新しく追加されたサーバ用にライセンスをアクティブ化する 場合、ライセンスされたサーバの1つから手動でライセンスを解放し、その解放さ れたライセンスを、新しく追加されたサーバに割り当てる必要があります。

注: 利用できるライセンスがない場合は、アクティビティ ログにエラー メッセージが表示されます。

ライセンス権限は簡単に削除して他のサーバがライセンス権を適用できるようにすることが可能です。Backup マネージャから、 ライセンスの管理]ダイアログ ボックス にアクセスし、各コンポーネントのアクティブなライセンス数を表示できます。 Arcserve Backup マネージャを使用して、適用されたライセンスを管理することもできます。

この後の手順

- ■前提条件の確認
- ライセンスの割り当て
- ノードからのライセンスの解放
- ライセンスの確認

前提条件の確認

ライセンスを管理するために以下の前提条件を満たしているかどうかを確認します。

- Arcserve Backup マネージャがインストールされていること。
- ライセンスをすでにアクティブ化していること。

ライセンスの割り当て

ライセンスは、製品のアクティベーション後に自動的に割り当てられます。ただし、 25桁のライセンスキーを使用して、Arcserve Backup マネージャから Arcserve Backup ライセンスを割り当てることができます。

以下の手順に従います。

- 1. Arcserve Backup マネージャにログインします。
- 2. トルプ]メニューに移動し、バージョン情報]を選択します。
- 3. 【バージョン情報】ダイアログ ボックスで、 Add/View Licenses (ライセンスの追加/表示)】をクリックします。



- 4. コンポーネント名を選択し、**ライセンスキーを使用する**] チェック ボックスをオンにします。
- 5. ライセンス キーを入力し、続行]をクリックします。

Arcserve Backup マネージャから Arcserve Backup ライセンスが正 常 に割り当 てられました。

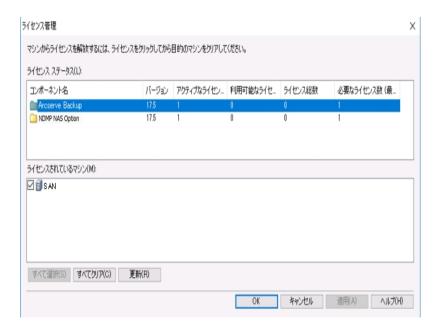
ノードからのライセンスの解放

重要:このプロセスはコンポーネント ベースのライセンスに対してのみ適用されます。

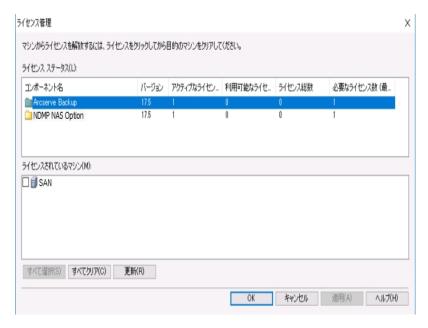
ノード(マシン)を保護しない場合は、そのノードからライセンスを解放し、解放されたライセンスを使用して他のノードを保護します。

以下の手順に従います。

- 1. Arcserve Backup マネージャにログインします。
- 2. **トルプ**]をクリックし、**バージョン情報**]を選択します。 **バージョン情報**]ダイアログボックスが開きます。
- 3. このダイアログ ボックスで、 **ライセンスの管理**]をクリックします。 **ライセンス管理**]ダイアログ ボックスが表示されます。



- 4. **ライセンス管理**]で、必要な [icense Component Name (ライセンス コンポーネント名)]を選択します。
- 5. **ライセンスされたマシン**]ペインで、マシンのチェックボックスをオフにします。



ライセンスがそのノード から解放され、ライセンスプール内で使用可能になります。

(オプション)解放されたライセンスを割り当てる場合は、別のノードでバックアップを実行すると自動的にライセンスが割り当てられます。

注: 十分なライセンスがない場合、**ライセンスされたマシン**] ウィンドウに、ライセンスのないマシンが赤色のアイコンで表示されます。

ライセンスの確認

ノードに適切なライセンスが適用されるかどうかを確認するには、ライセンスされた ノードに対してバックアップ ジョブを実行します。 バックアップ ジョブが成功 すると、ライセンスがノードに適用されます。

Arcserve Backup ライセンスを非アクティブ化 する方法

Arcserve Backup アクティベーションに使用される方式に基づいて、Arcserve Backup ライセンスをオンラインおよびオフラインで非アクティブ化できます。

注:

- Arcserve Backup サーバをアンインストールする場合、すべてのライセンスは解放されません。今後のインストールでライセンスを使用できるようにするには、Arcserve Backup サーバをアンインストールする前に製品を非アクティブ化してください。非アクティブ化せずに Arcserve Backup サーバをアンインストール済みの場合は、サポートに問い合わせて今後のインストールでライセンスを使用できるようにしてください。
- Arcserve Backup のアクティブ化と非アクティブ化では、同じモードを使用する 必要があります。たとえば、オフラインの非アクティブ化を実行するには、オフラ イン モードを使用してライセンスをアクティブ化している必要があります。

このセクションには、以下のトピックが含まれます。

- オンラインでの Arcserve Backup ライセンスの非アクティブ化
- オフラインでの Arcserve Backup ライセンスの非アクティブ化

オンラインでの Arcserve Backup ライセンスの非アクティブ化

重要: Arcserve 製品のオンラインでのライセンスの非アクティブ化は、アクティブ化をオンライン方式を使用して行った場合にのみ実行できます。

以下の手順に従います。

- 1. コンソールにログインします。
- 2. トルプ]をクリックし、 Arcserve 製品アクティベーション]を選択します。 Arcserve 製品アクティベーション]ダイアログボックスが開きます。



3. **非アクティブ化**]をクリックします。

Arcserve Backup の非アクティブ化]確認ダイアログボックスが表示されます。



4. **はい**]をクリックします。

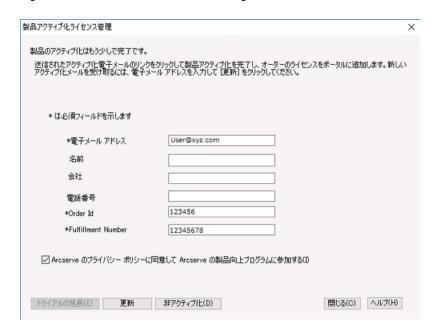
Arcserve Backup サーバからすべてのライセンスが解放され、今後使用できるように
なります。

オフラインでの Arcserve Backup ライセンスの非アクティブ化

重要: Arcserve 製品のオフラインでのライセンスの非アクティブ化は、アクティブ化をオフライン方式を使用して行った場合にのみ実行できます。

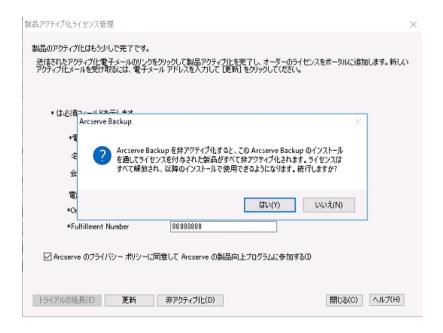
以下の手順に従います。

- 1. Arcserve Backup マネージャにログインします。
- 2. トルプ]をクリックし、 Arcserve 製品アクティベーション]を選択します。 Arcserve 製品アクティベーション] ダイアログ ボックスが開きます。



3. **非アクティブ化**]をクリックします。

確認のダイアログボックスが表示されます。



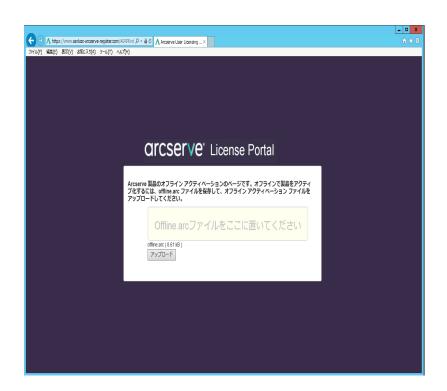
4. はい]をクリックします。

offline.arc ファイルは、以下の場所に保存されています。

C:\Program Files (x86)\CA\ARCserve Backup

5. オフライン アクティベーション プロセスで使 用したものと同じ <u>URL</u> にログインし、offline.arc ファイルをアップロードします。

注: 使用するブラウザの種類によって、画面に表示されるポップアップメッセージの位置が変わる場合があります。



注: オンライン方式を使用して製品がアクティブ化された場合は、確認のダイアログボックスの代わりに、以下のメッセージが表示されます。

登録していただき、あり扱うごさいました。製品アクティベーションを完了するには、下記のアドレスに送信された確認用電子メールに記載されているリングをクリックしてください。製品ライセンスをアクティグにすること ができません。インターネットに接続していることを確認してください。

Arcserve Backup マネージャで非アクティブ化されたライセンスを確認するには、 Arcserve 製品アクティベーション] ウィンドウに移動します。

Arcserve Backup のライセンスをアップグレード する方法

Arcserve では、新しいバージョンが利用可能な場合にArcserve 製品のライセンスをアップグレードできます。

すでにアクティブ化されているインストール済みの Arcserve Backup r17.5 から Arcserve Backup 18.0 にアップグレードできます。

以下の手順に従います。

- 1. Arcserve サポート ポータルにログインします。
- 2. 新しいライセンス証明書をリクエストします。

Arcserve では、製品のアップグレード用に無償のライセンス証明書が提供されています。詳細については、「Arcserve Backup の無償(FOC) アップグレード」を参照してください。

注:

- アクティブなメンテナンス期間内にのみリクエストが可能です。
- 「FOC (無償) ライセンス証明書を受け取った後は、製品の新規ライセンスアクティベーションは必要ありません。
- 3. アップグレードされた製品 バージョンに対応する新しいライセンス証明書を追加します。追加する方法の詳細については、「<u>オーダーの追加</u>」を参照してください。

アップグレード されたサーバに関連付けられている既存のライセンス プールにコンテンツを割り当てることができます。

- 1 つ以上のサーバにライセンスを割り当てることができます。
 - 1 つのサーバへのライセンスの割り当て: 「<u>オーダーの追加</u>」の手順 3 を実行して、アップグレードしたサーバに関連付けられたライセンス プール名を選択します。

下記の図で、ライセンスプール「test」はサーバ「WIN」に関連付けられており、このサーバは最新バージョンにアップグレードされています。



■ 複数のサーバ上でのライセンスの割り当て:「オーダーの追加」の手順3で、最初にライセンスをデフォルトプールに割り当てます。次に、それぞれのライセンスプールを変更して、必要な数の新しいライセンスを追加します。

注: サーバは、異なるライセンス プールまたは異なるユーザのいずれかに属することができます。

- 4. 以下のいずれかの手順を実行して、サーバ用に追加されたライセンスを確認します。
 - オンライン モード アップグレードされたコンソールの ライセンス管理] タブで **更新**]をクリックします。
 - オフライン モード 「<u>オーダーの追加</u>」の手順3の**注**に記載されている手順に従います。

第6章: スタンドアロン エージェント に対する Arcserve ライセンスの使用

このセクションには、スタンドアロン エージェント のライセンスに関 するプロセスの概要を示す以下のトピックが含まれます。

 スタンドアロン エージェント用の Arcserve ライセンス キーを生成する方法
 107

 製品向上プログラムの登録中に Arcserve のライセンスをスタンドアロン エージェントに適用する方法
 111

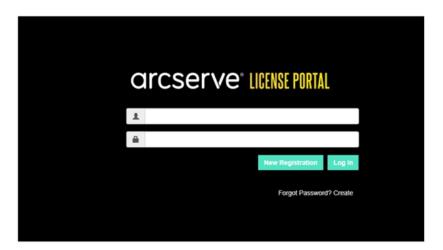
スタンドアロン エージェント 用 の Arcserve ライセンス キーを生 成 する方 法

Arcserve UDP では、Arcserve UDP コンソールを使用せずにスタンドアロンエージェント(Arcserve UDP v6.5 Windows/Linux エージェント) のライセンス キーを生成できます。

注: Arcserve ライセンス ポータルへの登録 がすでに済んでいる場合 は、手順 9 に直接進んでください。

以下の手順に従います。

- 1. Arcserve ライセンス ポータルを開きます。
- 2. **新しい登録?**]をクリックします。



Register For Stand-alone Agents and RHA(スタンドアロン エージェントと RHA 用の登録)]ページが表示されます。

arcserve LICENSE PORTAL

Register For Stand-alone Agents and RHA

- Register For Arcserve UDP or Arcserve Backup
- Register For Stand-alone Windows/Linux Agents of UDP and Arcserve RHA
- 3. Register For Stand-alone Windows/Linux Agents of UDP v6.5 and Arcserve RHA(UDP v6.5 のスタンドアロン Windows/Linux エージェントとArcserve RHA 用の登録)] オプションを選択します。

登録ウィンドウが開きます。

4. 必要な詳細を入力します。

名前

名前を指定します。

電子メールアドレス

電子メールアドレスを指定します。

注: この電子メールアドレスにアクティベーション電子メールが送信されます。

電話番号

電話番号を以下の形式で指定します:

国コード-電話番号。例: 000-11XXXX4455

会社名

会社名を指定します。

Order ID

Order ID を指定します。

注: Arcserve UDP をダウンロードすると、電子メールで Order ID を受け取ります。

Fulfillment Number

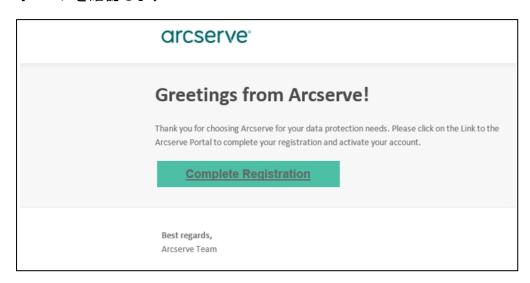
Fulfillment Number を指定します。

注: Arcserve UDP をダウンロードすると、電子メールで Fulfillment Number を受け取ります。

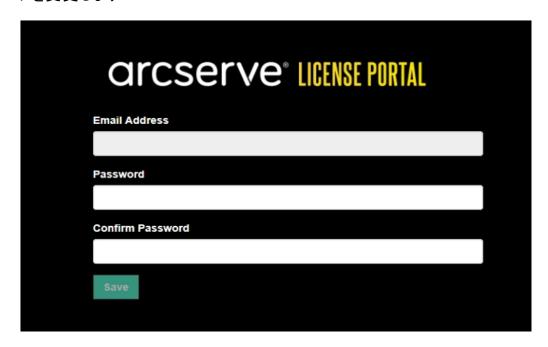
5. 登録]をクリックします。

登録が正常に終了した後、ポップアップメッセージが表示されます。

6. **p**K]をクリックし、登録した電子メール ID に送信されたアクティベーション電子メールを確認します。



7. 受信した電子メールから、アクティベーション用のリンクをクリックし、パスワードを変更します。



- 8. パスワードを入力して保存]をクリックします。
- 9. 登録されている資格情報で Arcserve ライセンス ポータルにログインします。 Arcserve ライセンス ポータルが開きます。
- 10. **キーの生成**] をクリックします。



- 11. 製品名] から製品を1つ(UDP Agent for Windows またはUDP Agent for Linux) 選択し、以下のいずれかの手順を実行します。
 - 1. 製品 バージョン] から、選択した製品用に生成する必要があるライセンス キーのバージョンを選択します。
 - 2. 数] から、選択した製品用に生成する必要があるライセンス キーの数を選択します。
 - 3. **Generate Key(キーの生成)**]をクリックします。



指定された詳細でライセンスキーが正常に生成されました。

製品名]で選択した製品に基づいて、生成されたライセンスキーを使用してスタンドアロン エージェント (Arcserve UDP Windows/Linux エージェント) にライセンスを適用できます。

製品向上プログラムの登録中に Arcserve のライセンスをスタンドアロン エージェント に適用する方法

Arcserve UDP Agent v6.5 のインストール後に、コンソールからプログラム向上プログラムに登録することができます。登録することで、コンソールの使用状況の詳細や統計情報を共有したり、Arcserve による自動収集を許可したりすることができるようになり、製品のユーザビリティと機能を向上させることができます。

重要: Arcserve では、ノード名、IP アドレス、ログイン認証情報、ドメイン名、ネットワーク名など、個人または会社の重要な情報を収集することはありません。

コンソールを登録していない場合は、以下の通知がコンソールの **ダッセージ**]タブに表示されます。

お使いのArcserve Unified Data Protection がArcserve 製品向上プログラムに登録されていません。Register. (登録してください。)

以下の手順に従います。

- 1. コンソールから **トルプ**] **製品向上プログラム**]をクリックします。
 - Arcserve 製品向上プログラム] ダイアログ ボックスが表示されます。
- 2. Arcserve 製品向上プログラムに参加する] チェック ボックスを選択します。
- 3. 以下の詳細を指定し、**確認用電子メールの送信**]をクリックします。

名前

名前を指定します。

会社名

会社名を指定します。

電話番号

電話番号を以下の形式で指定します:

国コード - 電話番号。例: 000-1122334455

電子メールアドレス

電子メールアドレスを指定します。これは必須フィールドです。この電子メールアドレスに確認用電子メールが送信されます。

フルフィルメント番号

Fulfillment Number を指定します。Arcserve UDP をダウンロードする場合、電子メールでこの番号を受け取ります。

確認用電子メールが、 Arcserve 製品向上プログラム] ダイアログ ボックスに入力した電子メール アドレスに送信されます。

- 4. 電子メールのアカウントにログインし、受信した電子メールを開きます。
- 5. 電子メールに表示されている確認用リンクをクリックします。
- 6. その電子メールから、アクティベーション用のリンクをクリックします。

Arcserve の登録ページが表示され、ユーザの電子メールがすでに入力された状態で **パスワードの作成**] ダイアログ ボックスが表示されます。

注: アクティベーションを完了するには、このリンクで Arcserve ライセンス ポータルの プロファイルを作成する必要があります。 プロファイルを作成するには、パスワードを入力し、ライセンス プールを 1 つ作成する必要があります。

- 7. **パスワードの作成**] ダイアログ ボックスで、Arcserve ライセンス ポータルのプロファイルを作成 するために希望 のパスワードを入力します。
- 8. 保存]をクリックします。

Arcserve ライセンス ポータルのログイン ページが開きます。 <u>計一ダーの追加</u>]および <u>ドーのダウンロード</u>]オプションを使用してスタンドアロン エージェント のライセンスを取得できます。

Arcserve UDP が正常に登録されました。

登録した後、参加のキャンセル]ボタンが有効化されます。

登録をキャンセルするには、参加のキャンセル]をクリックします。

電子メールアドレスを更新するには、このトピックの上記の手順に従って、再度登録してください。

第6章: Arcserve - Continuous Availability、Live Migration、RHA 用の Arcserve ライセンスの生成

このセクションには、Arcserve - Continuous Availability、Live Migration、RHA 用のライセンスの生成に含まれるプロセスの概要を示す以下のトピックが含まれます。

Arcserve Continuous Availability 用の Arcserve ライセンス キーを生成する方法113
Arcserve Live Migration 用の Arcserve ライセンス キーを生成する方法117
Arcserve RHA 18.0 SP1 用の Arcserve ライセンス キーを生成する方法
Arcserve RHA 16.5 用の Arcserve ライセンス キーを生成する方法

Arcserve Continuous Availability 用の Arcserve ライセンス キーを生成する方法

Arcserve ライセンス ポータルでは、Arcserve - Continuous Availability、Live Migration、RHA 用 のライセンス キーを生 成 できます。

注: Arcserve ライセンス ポータルへの登録 がすでに済んでいる場合 は、手順 9 に直接進んでください。

以下の手順に従います。

- 1. Arcserve ライセンス ポータルを開きます。
- 新しい登録?]をクリックします。



3. Arcserve - Continuous Availability、Live Mirgration、RHA またはスタンドアロン UDP エージェントのライセンスを生成する] オプションを選択します。

arcserve LICENSE PORTAL						
Generate licenses for Arcserve - Continuous Availability, Live Migration, RHA or						
 Activate the license for Arcserve UDP and Arcserve Backup Generate licenses for Arcserve - Continuous Availability, Live Migration, RHA or st 						
Name						
Email Address*						
Phone Number						
Company						
Order ID*						
Fulfillment Number						
	Cancel Register					

登録]フォームが表示されます。

4. 必要な詳細を入力します。

名前

名前を指定します。

電子メールアドレス

電子メールアドレスを指定します。

注: この電子メール アドレスにアクティベーション電子 メールが送信されます。

電話番号

電話番号を以下の形式で指定します:

国コード-電話番号。例: 000-11XXXX4455

会社名

会社名を指定します。

Order ID

Order ID を指定します。

注: Arcserve UDP をダウンロードすると、電子メールで Order ID を受け取ります。

Fulfillment Number

Fulfillment Number を指定します。

注: Arcserve UDP をダウンロードすると、電子メールで Fulfillment Number を受け取ります。

5. 登録]をクリックします。

登録が正常に終了した後、ポップアップメッセージが表示されます。

6. **(DK**)をクリックし、登録した電子メール ID に送信されたアクティベーション電子メールを確認します。

arcserve*

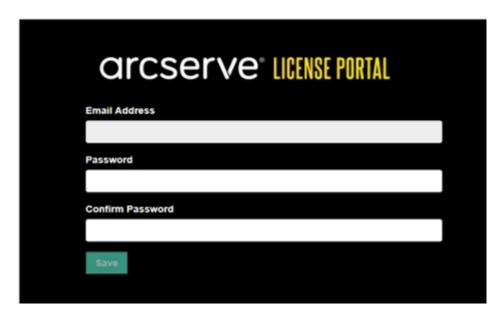
Greetings from Arcserve!

Thank you for choosing Arcserve for your data protection needs. Please click on the Link to the Arcserve Portal to complete your registration and activate your account.

Complete Registration

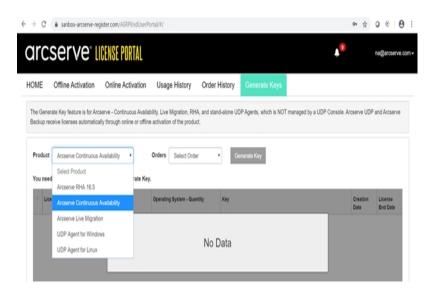
Best regards, Arcserve Team

7. 受信した電子メールから、アクティベーション用のリンクをクリックし、パスワードを変更します。



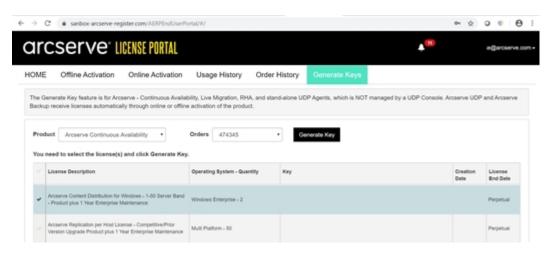
- 8. パスワードを入力して保存]をクリックします。
- 9. 登録されている資格情報で Arcserve ライセンスポータルにログインします。 Arcserve ライセンスポータルが開きます。
- 10. **件一の生成**]をクリックします。

注: Arcserve UDP Premium Plus エディションをインストールした場合、または Arcserve Continuous Availability オーダーがライセンス ポータルに追加された 場合にのみ、Arcserve Continuous Availability が 製品名]ドロップダウンリストに表示されます。

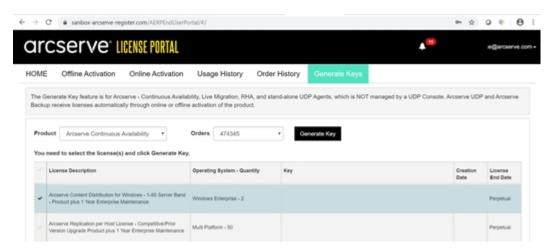


11. 製品名]から Arcserve Continuous Availability を選択して、以下の手順を実行します。

- a. オーダー] から、目的のオーダーを選択します。このページには、そのオーダーに対して使用可能なライセンスのリストが表示されます。
- b. グリッド から必要なライセンスを選択します。



c. Generate Key(キーの生成)]をクリックします。



指定された詳細でライセンスキーが正常に生成されました。

注: 生成されたライセンス キーは Arcserve Continuous Availability で使用できます。Arcserve Replication/High Availability 18.0 を備えたシステムは、Arcserve Continuous Availability にアップグレードできます。詳細については、テクニカル サポート サイトをご覧 いただくか、弊社までお問い合わせください。

Arcserve Live Migration 用の Arcserve ライセンス キーを生成する方法

Arcserve ライセンス ポータルでは、Arcserve - Continuous Availability、Live Migration、RHA 用のライセンス キーを生成できます。

注: Arcserve ライセンス ポータルへの登録 がすでに済んでいる場合 は、手順 9 に直接進んでください。

以下の手順に従います。

- 1. Arcserve ライセンスポータルを開きます。
- 2. 新しい登録?]をクリックします。



3. Arcserve - Continuous Availability、Live Mirgration、RHA またはスタンドアロン UDP エージェントのライセンスを生成する] オプションを選択します。

arcserve LICENSE PORTAL						
Generate licenses for Arcserve - Continuous Availability, Live Migration, RHA or						
 Activate the license for Arcserve UDP and Arcserve Backup Generate licenses for Arcserve - Continuous Availability, Live Migration, RHA or st 						
Name						
Email Address*						
Phone Number						
Company						
Order ID*						
Fulfillment Number*						
	Cancel Register					

登録]フォームが表示されます。

4. 必要な詳細を入力します。

名前

名前を指定します。

電子メールアドレス

電子メールアドレスを指定します。

注: この電子メール アドレスにアクティベーション電子 メールが送信されます。

電話番号

電話番号を以下の形式で指定します:

国コード-電話番号。例: 000-11XXXX4455

会社名

会社名を指定します。

Order ID

Order ID を指定します。

注: Arcserve UDP をダウンロードすると、電子メールで Order ID を受け取ります。

Fulfillment Number

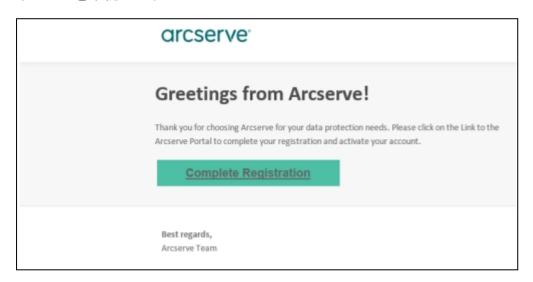
Fulfillment Number を指定します。

注: Arcserve UDP をダウンロードすると、電子メールで Fulfillment Number を受け取ります。

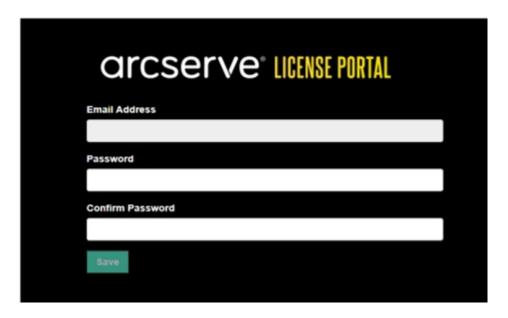
5. 登録]をクリックします。

登録が正常に終了した後、ポップアップメッセージが表示されます。

6. **(DK**)をクリックし、登録した電子メール ID に送信されたアクティベーション電子メールを確認します。

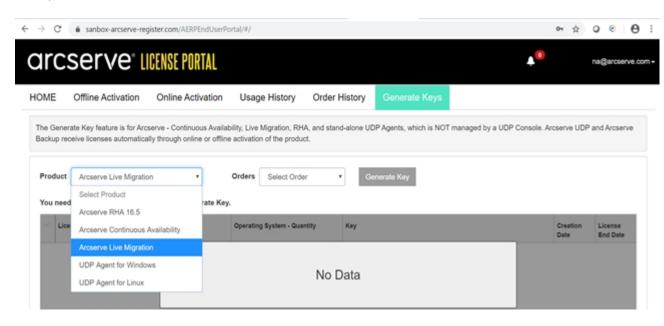


7. 受信した電子メールから、アクティベーション用のリンクをクリックし、パスワードを変更します。



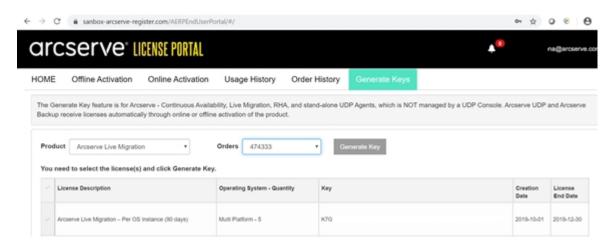
- 8. パスワードを入力して保存]をクリックします。
- 9. 登録されている資格情報で Arcserve ライセンスポータルにログインします。 Arcserve ライセンスポータルが開きます。
- 10. **件一の生成**]をクリックします。

注: Arcserve Live Migration オーダーがライセンス ポータルに追加された場合にのみ、Arcserve Live Migration が 製品名]ドロップダウン リストに表示されます。



11. 製品名]から Live Migration を選択して、以下の手順を実行します。

- a. **オー**ダー] から、目的のオーダーを選択します。このページには、そのオーダーに対して使用可能なライセンスのリストが表示されます。
- b. グリッド から必要なライセンスを選択します。
- c. Generate Key(キーの生成)]をクリックします。



指定された詳細でライセンスキーが正常に生成されました。

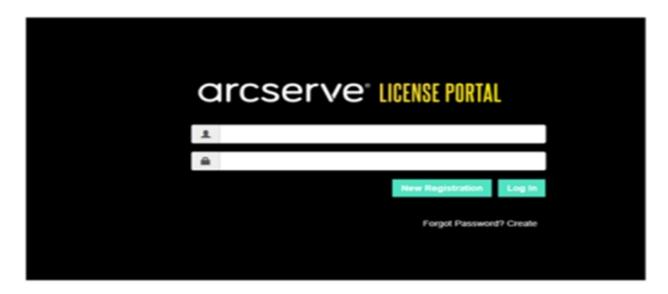
Arcserve RHA 18.0 SP1 用の Arcserve ライセンス キーを生成する方法

Arcserve ライセンス ポータルでは、Arcserve - Continuous Availability、Live Migration、RHA 用のライセンス キーを生成できます。

注: Arcserve ライセンス ポータルへの登録 がすでに済んでいる場合 は、手順 9 に直接進んでください。

以下の手順に従います。

- 1. Arcserve ライセンス ポータルを開きます。
- 2. 新しい登録?]をクリックします。



3. Arcserve - Continuous Availability、Live Mirgration、RHA またはスタンドアロン UDP エージェント のライセンスを生成 する] オプションを選択します。

arcserve LICENSE PORTAL						
Generate licenses for Arcserve - Continuous Availability, Live Migration, RHA or						
 Activate the license for Arcserve UDP and Arcserve Backup Generate licenses for Arcserve - Continuous Availability, Live Migration, RHA or st 						
Name						
Email Address*						
Phone Number						
Company						
Order ID*						
Fulfillment Number*						
	Cancel Register					

登録ウィンドウが開きます。

4. 必要な詳細を入力します。

名前

名前を指定します。

電子メールアドレス

電子メールアドレスを指定します。

注: この電子メール アドレスにアクティベーション電子 メールが送信されます。

電話番号

電話番号を以下の形式で指定します:

国コード-電話番号。例: 000-11XXXX4455

会社名

会社名を指定します。

Order ID

Order ID を指定します。

注: Arcserve UDP をダウンロードすると、電子メールで Order ID を受け取ります。

Fulfillment Number

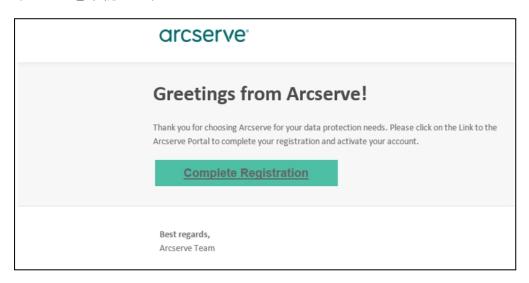
Fulfillment Number を指定します。

注: Arcserve UDP をダウンロードすると、電子メールで Fulfillment Number を受け取ります。

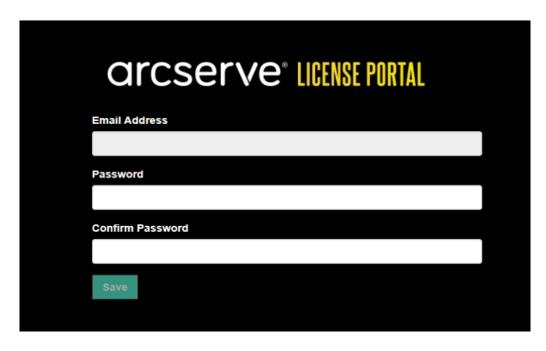
5. 登録]をクリックします。

登録が正常に終了した後、ポップアップメッセージが表示されます。

6. **(DK**)をクリックし、登録した電子メール ID に送信されたアクティベーション電子メールを確認します。



7. 受信した電子メールから、アクティベーション用のリンクをクリックし、パスワードを変更します。



- 8. パスワードを入力して 保存]をクリックします。
- 9. 登録されている資格情報で Arcserve ライセンスポータルにログインします。 Arcserve ライセンスポータルが開きます。
- 10. **牛一の生成**]をクリックします。

注: Arcserve UDP Premium Plus エディションをインストールした場合、または Arcserve RHA オーダーがライセンス ポータルに追加された場合にのみ、 Arcserve RHA が 製品名]ドロップダウンリストに表示されます。



- 11. 製品名]から Arcserve RHA 18.0 を選択して、以下のいずれかの手順を実行します。
 - 1. 【RHA オーダー】から必要なオーダーを選択すると、そのオーダーで利用可能なライセンスのリストが表示されます。
 - 2. グリッド から必要なライセンスを選択します。
 - Generate Key(キーの生成)]をクリックします。



指定された詳細でライセンスキーが正常に生成されました。

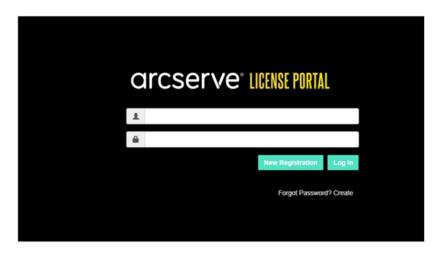
Arcserve RHA 16.5 用の Arcserve ライセンス キーを生成する方法

Arcserve ライセンス ポータルでは、Arcserve - Continuous Availability、Live Migration、RHA 用のライセンス キーを生成できます。

注: Arcserve ライセンス ポータルへの登録 がすでに済んでいる場合 は、手順 9 に直接進んでください。

以下の手順に従います。

- 1. Arcserve ライセンス ポータルを開きます。
- 2. 新しい登録?]をクリックします。



3. Arcserve - Continuous Availability、Live Mirgration、RHA またはスタンドアロン UDP エージェントのライセンスを生成する] オプションを選択します。

Generate licenses for Arcserve - Continuous Availability, Live Migration, RHA or st Activate the license for Arcserve UDP and Arcserve Backup Generate licenses for Arcserve - Continuous Availability, Live Migration, RHA or sta Name Email Address Phone Number Company Order ID Fulfillment Number

登録]フォームが表示されます。

4. 必要な詳細を入力します。

名前

名前を指定します。

電子メールアドレス

電子メールアドレスを指定します。

注: この電子メール アドレスにアクティベーション電子 メールが送信されます。

電話番号

電話番号を以下の形式で指定します:

国コード-電話番号。例: 000-11XXXX4455

会社名

会社名を指定します。

Order ID

Order ID を指定します。

注: Arcserve UDP をダウンロードすると、電子メールで Order ID を受け取ります。

Fulfillment Number

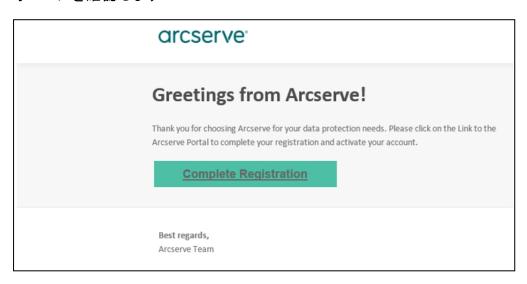
Fulfillment Number を指定します。

注: Arcserve UDP をダウンロードすると、電子メールで Fulfillment Number を受け取ります。

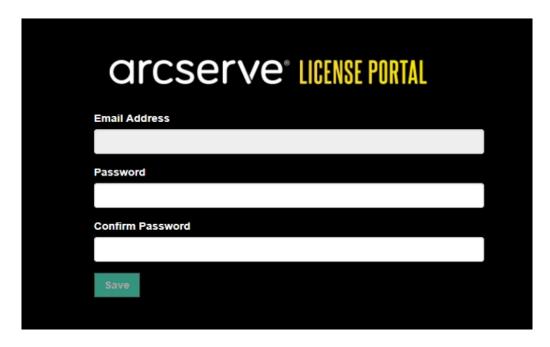
5. 登録]をクリックします。

登録が正常に終了した後、ポップアップメッセージが表示されます。

6. **(DK**)をクリックし、登録した電子メール ID に送信されたアクティベーション電子メールを確認します。



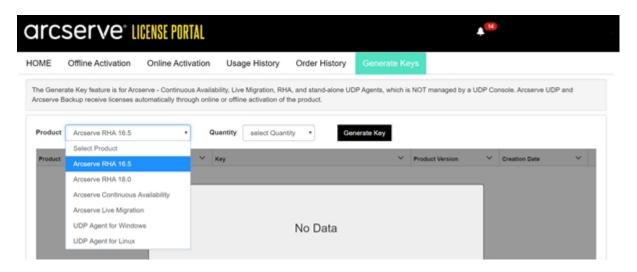
7. 受信した電子メールから、アクティベーション用のリンクをクリックし、パスワードを変更します。



- 8. パスワードを入力して 保存]をクリックします。
- 9. 登録されている資格情報で Arcserve ライセンスポータルにログインします。 Arcserve ライセンスポータルが開きます。
- 10. **牛一の生成**]をクリックします。

注: Arcserve UDP Premium Plus エディションをインストールした場合、または Arcserve RHA オーダーがライセンス ポータルに追加された場合にのみ、 Arcserve RHA が 製品名]ドロップダウンリストに表示されます。

- 11. 製品名]から Arcserve RHA 16.5 を選択し、以下の手順を実行します。
 - 1. 数]から、選択した製品用に生成する必要があるライセンスキーの数を選択します。
 - 2. **Generate Key(キーの生成)**]をクリックします。



指定された詳細でライセンスキーが正常に生成されました。

生成されたライセンス キーを使用して、Arcserve RHA 16.5 にライセンスを適用できます。

第7章: ライセンス適用前の Arcserve 製品の使用

このセクションには、以下のトピックが含まれます。

トライアル版 Arcserve 製品の使用方法	. 133
Arcserve UDP Workstation Free Edition について	. 144

第7章: ライセンス適用前の Arcserve 製品の使用 132

トライアル版 Arcserve 製品の使用方法

このセクションには、以下のトピックが含まれます。

- トライアル版 Arcserve UDP の延長
- トライアル版 Arcserve Backup の延長
- Arcserve のトライアルの延長 Email Archiving

トライアル版 Arcserve UDP の延長

重要:製品のトライアル版は、1回だけ延長することができます。

Arcserve では、Arcserve UDP のトライアル期間を延長できます。トライアル期間の最後に、延長をリクエストできます。

以下の手順に従います。

- 1. Arcserve UDP コンソールにログインします。
- 2. **トルプ**]をクリックし、**アクティベーションとライセンス**]を選択します。 **ア**クティベーションとライセンス]ダイアログボックスが表示されます。
- 3. **トライアルの延長**] タブをクリックします。



4. トライアルの延長]ダイアログボックスから、**トライアルの延長**]をクリックします。

ブラウザで トライアルの延長のリクエスト]ページが開きます。

注: [トライアルの延長のリクエスト] ページが表示されない場合、ブラウザでポップアップがブロックされていないかどうかを確認します。

5. トライアルの延長] 登録ページで、以下の詳細を入力します。

注:*のついたフィールドは必須です。



電子メールアドレス

電子メールアドレスを指定します。

注: この電子メールアドレスに確認用電子メールが送信されます。トライアル期間を延長するには、確認メールを開いて、リンクをクリックする必要があります。

連絡先名(オプション)

名前を指定します。

玉

国の選択に基づいて、Arcserve は会社から承認する権限を識別します。

会社名(オプション)

会社名を指定します。

連絡先電話番号(オプション)

電話番号を以下の形式で指定します:

国コード-電話番号。例:000-1122334455

デフォルト(1TBのソース データ制限がある、60日間の全機能トライアル)

1TB のデータ制限付きで 60 日間のデフォルトトライアルを有効化できます。カスタマイズされたトライアル延長要件については、 **カスタマイズ済** み] チェック ボックスをオンにします。

カスタマイズ済み

トライアル延 長 リクエスト の要 件 に従って、下 記 のカスタマイズ オプション を選 択 できます。

ソース データ サイズ(TB)

トライアル延長リクエストについて、必要なソース データ サイズを TB の 倍数で指定します。

Office 365 バックアップ ユーザ数

トライアル延長リクエストについて、必要な Office 365 バックアップ ユーザ数を指定します。

x.物理ノードの場合

トライアル延長リクエストについて、必要な物理ノード数を指定します。

x.仮想ノードの数

トライアル延長リクエストについて、必要な物理ノード数を指定します。

追加情報

必要に応じて、追加情報を指定します。

6. **サブミット**]をクリックします。

承認のため、トライアルの延長のリクエストが送信されました。

Arcserve から確認メールが送信されます。

Arcserve から延長 リクエスト が承認される場合、アクティベーション リンクを含んだ電子 メールが Arcserve から送信されます。

7. 電子メールに記載されたリンクをクリックします。

Arcserve 製品のトライアル期間が延長されます。これで、アクティブ化されたライセンスを確認できます。

トライアル版 Arcserve Backup の延長

重要:製品のトライアル版は、1回だけ延長することができます。

Arcserve では、Arcserve Backup のトライアル期間をオンラインで延長できます。

以下の手順に従います。

- 1. Arcserve Backup マネージャにログインします。
- 2. トルプ] クリックして、トライアルの延長]を選択します。



トライアルの延長]ダイアログ ボックスが表示されます。 トライアルの延長]ダイアログ ボックスから、 **トライアルの延長**]をクリックします。

3. ブラウザで トライアルの延長のリクエスト]ページが開きます。

注: トライアルの延長のリクエスト]ページが表示されない場合、ブラウザでポップアップがブロックされていないかどうかを確認します。

4. トライアルの延長] 登録ページで、以下の詳細を入力します。

注:*のついたフィールドは必須です。



電子メールアドレス

電子メールアドレスを指定します。

注: この電子メールアドレスに確認用電子メールが送信されます。トライアル期間を延長するには、確認メールを開いて、リンクをクリックする必要があります。

連絡先名(オプション)

名前を指定します。

国

国の選択に基づいて、Arcserve は会社から承認する権限を識別します。

会社名(オプション)

会社名を指定します。

連絡先電話番号(オプション)

電話番号を以下の形式で指定します:

国コード-電話番号。例: 000-1122334455

デフォルト(1TB のソース データ制限がある、60 日間の全機能トライアル)

1TB のデータ制限付きで 60 日間のデフォルト トライアルを有効化できます。カスタマイズされたトライアル延長要件については、**カスタマイズ済み**]チェックボックスをオンにします。

カスタマイズ済み

トライアル延長リクエストの要件に従って、下記のカスタマイズオプションを選択できます。

ソース データ サイズ(TB)

トライアル延長 リクエスト について、必要なソース データ サイズを TB の倍数で指定します。

x.物理ノードの場合

トライアル延長リクエストについて、必要な物理ノード数を指定します。

x.仮想ノードの数

トライアル延長リクエストについて、必要な物理ノード数を指定します。

追加情報

必要に応じて、追加情報を指定します。

5. **サブミット**]をクリックします。

承認のため、トライアルの延長のリクエストが送信されました。

Arcserve から確認メールが送信されます。

Arcserve から延長リクエストが承認される場合、アクティベーション リンクを含んだ電子メールが Arcserve から送信されます。

6. 電子メールに記載されたリンクをクリックします。

Arcserve 製品のトライアル期間が延長されます。これで、アクティブ化されたライセンスを確認できます。

Arcserve のトライアルの延長 Email Archiving

Email Archiving では、1回だけトライアルバージョンを延長することができます。トライアルの延長は、期限までの残り日数が10日以下のときのみ表示されます。画面の上部のSuper Admin名の前の通知アイコンを使用すると、トライアルバージョンの終了日を表示することができます。たとえば、通知にはトライアル期間の終了日が表示されます。

以下の手順に従います。

1. Email Archiving コンソールの右上から、 [super Admin] アイコンをクリックします。

複数のオプションが表示されます。

2. オプションのリストで、**アクティベーションとライセンス**]をクリックします。 「アクティベーションとライセンス]ページが表示され、 製品 アクティベーション 1タブの詳細 が表示されます。



3. **アクティベーションとライセンス**] ダイアログ ボックスから、 **電子メール アドレ** ス] と **名前**] を入力します。

トライアルの延長]オプションが有効化されます。

トライアルの延長] をクリックします。

ブラウザで トライアルの延長のリクエスト]ページが開きます。

注: [トライアルの延長のリクエスト] ページが表示されない場合、ブラウザでポップアップがブロックされていないかどうかを確認します。

5. トライアルの延長]登録ページで、以下の詳細を入力します。

注:*のついたフィールドは必須です。

arcserve" LICENSE PORTAL							
	トライアル延長リクエスト						
電子メール アドレス*			連絡先の名前				
EI*	Select Country, 国の選択	~	会社名				
連絡先電話番号							
● カスタマイズ済							
ソースデ	ータ サイズ (TB)	Office 3	165 バックアップ ユー ザ				
	物理ノード数		仮想ノード数				
	マネージャまた を指定してくだ	は Arcserve パートナー さい。	ポートについて記載してください。 - と共にすでにプロジェクトに参加 ト ライセンスを探しています				
		ナブミット キャ	ンセル				

電子メールアドレス

電子メールアドレスを指定します。

注:この電子メールアドレスに確認用電子メールが送信されます。トライアル期間を延長するには、確認メールを開いて、リンクをクリックする必要があります。

連絡先名(オプション)

名前を指定します。

玉

国の選択に基づいて、Arcserve は会社から承認する権限を識別します。

会社名(オプション)

会社名を指定します。

連絡先電話番号(オプション)

電話番号を以下の形式で指定します:

国コード-電話番号。例: 000-1122334455

デフォルト(1TBのソース データ制限がある、60日間の全機能トライアル)

1TB のデータ制限付きで 60 日間のデフォルトトライアルを有効化できます。カスタマイズされたトライアル延長要件については、 **カスタマイズ済** み] チェック ボックスをオンにします。

x.メールボックスの数

トライアル延長リクエストに必要なメールボックス数を指定します。

追加情報

必要に応じて、追加情報を指定します。

6. **サブミット**]をクリックします。

承認のため、トライアルの延長のリクエストが送信されました。

Arcserve から確認メールが送信されます。

Arcserve から延長 リクエスト が承認される場合、アクティベーション リンクを 含んだ登録電子 メールが Arcserve から送信されます。

- 7. アクティベーションで指定した電子メールアドレスで、Arcserve からの登録 メールを開き、以下の手順を実行します。
 - a. 登録メールに記載されているアクティベーション リンクをクリックします。 Arcserve の登録ページが表示され、ユーザの電子メールがすでに入力された状態で Arcserve ライセンス ポータルのログインページが表示されます。
 - b. Arcserve ライセンス ポータルのプロファイルを作成 するために希望のパスワードを入力し、**保存**]をクリックします。

Arcserve ライセンス ポータルのログイン ページが表 示されます。 製 品をアクティブ化した後、Arcserve 製 品 ライセンスを管理 する必要 がある場合 はログインします。

8. Arcserve Email Archiving コンソールに移動し、**ライセンス管理**] タブをクリックして、直接ライセンスを管理します。



Copyright © 2018 Arcserve. All rights reserved. プライバシー ポリシー | サポートポリシー | 利用規約

9. 製品のすべてのライセンスの最新のステータスを表示するには、**ライセンス の更新**]をクリックします。

注:トライアルの延長のステータスと最終日を表示するには、Arcserve Email

Archiving コンソールの右上にある アイコンをクリックします。

Arcserve 製品のトライアル期間が延長されます。

Arcserve UDP Workstation Free Edition について

Arcserve ではトライアル期間中に UDP Workstation Edition を使用することができます。Arcserve UDP Version 5.0 Update 2 以降では、トライアル期間が終了すると、まだ正式なライセンスを取得していないユーザに、完全に機能する無償のWorkstation Free Edition が提供されます。この無料エディションは、ワークステーション クラス ハードウェア(Microsoft のクライアント オペレーティング システムを実行するラップトップまたはデスクトップ)で使用でき、トライアル期間に提供されていたすべての機能への完全なフルアクセスが提供されます(一部の機能に制限が適用されます)。

注: Workstation Free Edition では、UDP データストアへのバックアップはサポートされていません。

ポイント:

- トライアル期間が終了すると、Workstation Edition (トライアル期間エディション)が Workstation Free Edition に変更されます。
- Workstation Free Edition ノードは、引き続き Arcserve UDP コンソールから管理できます。
- 完全な Arcserve UDP「Workstation Edition」への非常に簡単なキーベースのアップグレード方法が提供されます。
- ライセンス キーなしで、ローカル ディスク、共有 フォルダ、またはその他 のサポートされるすべてのデスティネーション(RPS 以外) へのバックアップを実行 できます。
- Workstation Free Edition では、RPS をバックアップ先として選択できません。そのため、バックアップ サイクル中に実際に転送されるデータ量を大幅に減少させるグローバル デデュプリケーション機能を利用できません。この機能は、完全な Workstation Edition にアップグレードすると使用可能なります。
- ライブ チャット 機能は提供されていませんが、質問したり問題解決のためにオンライン コミュニティベースのサポート が使用できます。

FAQ については、「Workstation Free Edition に関する FAQ」を参照してください。

UDP Workstation Free Edition に関する FAQ

以下のFAQの一覧では、Arcserve UDP Workstation Free Edition に関連する情報を提供します。

質問:試用版を使用してArcserve UDPのすべての機能をテストできますか。

回答:はい、トライアル期間が終了するまで、試用版で、Arcserve UDP の優れた機能をすべて利用できます。トライアル期間が終了すると、Arcserve UDP の Workstation Edition は自動的に Workstation Free Edition に戻ります。

質問: Workstation Free Edition ノードで復旧ポイント サーバ (RPS) がデスティネーションとして選択されると、どうなりますか。

回答: バックアップ先として RPS を選択できます。Arcserve UDP 環境で使用可能なライセンスは、要件に従って必要な数が使用されます。

質問: Arcserve UDP では、ライセンスを消費する必要がある場合を判断できるのですか。

回答: Arcserve UDP は、どのノードがライセンスを必要とするかを判断できる機能を備えており、必要な場合にのみライセンスを使用(消費)します。そのため、共有フォルダへのバックアップを実行しても、ライセンスは消費されません。ただし、バックアップ先として RPS を選択すると、使用可能な場合はライセンスが消費されます。その後は、Workstation Free Edition ノードからのバックアップ先として RPS を使用(選択)でき、その場合も使用可能なライセンスが1つ消費されます(これにより、Workstation Free Edition ノードではなくなります)。

質問: Workstation Free Edition は、Windows 2012 などのサーバ クラス オペレーティング システム用に使用できますか。

回答: いいえ。Workstation Free Edition は、サポートされる Windows クライアント オペレーティング システム(Windows 7、8、8.1 など) を搭載 するデスクトップおよびラップトップでのみ使用されます。サポートされているすべてのオペレーティング システムの一覧を表示するには、「<u>動作要件</u>」を参照してください。

質問: Workstation Free Edition の製品 サポート は提供されますか。

回答:製品内からオンラインコミュニティベースのサポートに直接接続することにより、Workstation Free Edition に関するサポートを利用できます。完全な Workstation Edition では、「ライブチャット」機能(Workstation Free Edition では使用不可)などの、さらに高度で迅速なサポート機能を利用できます。

第8章: Arcserve ライセンス ポータルの使用

このセクションには、以下のトピックが含まれます。

Arcserve ライセンス ポータルの理解	147
Arcserve ライセンス ポータルの画 面 の説 明	149
ユーザ オプションの管 理	151
製品ライセンスの管理	152
オフラインでの Arcserve 製 品 ライセンスのアクティブ化	164
オンラインでの Arcserve 製 品 ライセンスのアクティブ化	165
使用履歴の表示	166
<u>オーダー履 歴 の表 示</u>	167
スタンドアロン エージェント/Arcserve RHA 用のキーのダウンロード	168

第8章: Arcserve ライセンス ポータルの使用 146

Arcserve ライセンス ポータルの理解

Arcserve ライセンスポータルは、Arcserve 製品のすべてのライセンスを管理することができます。ポータルでは、複数の機能を実行できます。ログインページで、登録時に使用したのと同じ認証情報を入力します。

注:初回ログイン後に、ポータルを使用してパスワードを変更します。

arcserve° LICENSE PORTAL
2
新規登録 ログイン
パスワードを忘れた場合? 作成
オフライン モードでのアクティブ化/非アクティブ化 マニュアル よく寄せられる質問

ログインページでは以下のオプションを設定することもできます。

新規登録

Arcserve UDP または Arcserve RHA のスタンドアロン エージェントを新規登録できます。

重要: このオプションは、Arcserve UDP v6.5 または Arcserve Backup r17.5 のライセンスには適用されません。

マニュアル

Arcserve UDP v6.5 および Arcserve Backup r17.5 のライセンスの初回登録とライセンス アクティベーションに関する情報が記載されています。

Activate/Deactivate in offline mode (オフライン モードでのアクティブ化/非アクティブ化)

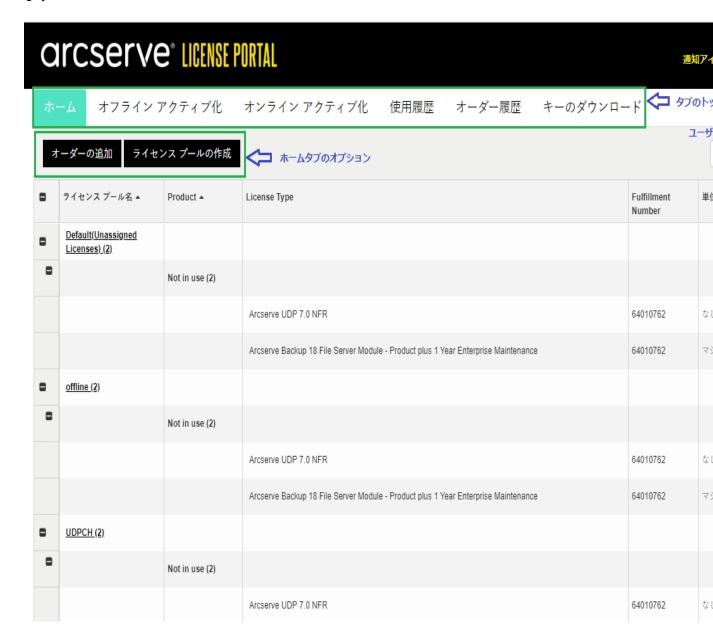
このリンクをクリックすると、offline.arc ファイルをアップロードして、オフラインモードでマシンをアクティブ化または非アクティブ化することができます。

FAQ

他のユーザから寄せられたよくある質問に対する回答を参照することができます。

Arcserve ライセンス ポータルの画 面 の説 明

Arcserve ライセンス ポータルのランディング ページには、次のフィールド が表示 されます。



トップバー

各 タブを使 用して特 定 の操 作 を実 行 できます。たとえば、ランディング ページ には [ホーム] タブのオプションが表 示されます。

ホーム

ライセンスプールを作成したり、製品のオーダーを追加したりすることができます。

オフライン アクティブ化

Arcserve 製品をオフラインモードでアクティブ化できます。

オンライン アクティブ化

Arcserve 製品をオンラインモードでアクティブ化できます。

使用履歴

ライセンスの完全な使用状況を確認できます。

オーダー履歴

ライセンスオーダーの完全な履歴を確認できます。

Download Keys (キーのダウンロード)

Arcserve RHA のキーとArcserve UDP のスタンドアロン エージェントのキーを表示 および生 成 できます。

サイド バー

右上に、ログインしているユーザの名前/電子メール ID が表示されます。ドロップダウン オプションを使用すると、ユーザのプロファイルとパスワードを更新できます。

通知アイコン

製品の有効期限に関する詳細情報が表示されます。

選択したタブの画面

トップ バーの下の画面には、選択したタブの使用可能なフィールドが表示されます。 ランディング ページにはデフォルトで、 **木一ム**] ページの使用可能なオプションが表示されます。 中央のセクションの表示を変更するには、他のタブをクリックします。

ユーザ オプションの管理

Arcserve ライセンス ポータルの右上に、ログインしているユーザの名前が表示されます。



ユーザ名 のドロップダウン リスト からオプションをクリックすると、以下 のタスクを実 行できます。

パスワードの変更

ポータルから直接パスワードを更新します。新しいパスワードを入力し、 **パスワードの変更**] をクリックします。

注: 新しいパスワードの入力] ボックス内をクリックすると、パスワードを変更する電子メールの ID が表示されます。

プロファイルの編集

プロフィールを更新できます。画面名、連絡先番号、会社名を変更することができます。

ログアウト

Arcserve ライセンス ポータルからサインアウト できます。 画 面 の制 御 オプション から閉じるのではなく、 ログアウト 1 オプションを使 用 することをお勧めします。

ヘルプ

関連するドキュメントを表示できます。

製品ライセンスの管理

ホーム] タブを使用すると、製品のライセンスを管理することができます。 ホーム] タブは、ログイン後に表示されるデフォルトのランディングページです。他のタブを使用している場合は、 ホーム] タブをクリックしてライセンスを管理します。

arcserve LICENSE PORTAL オフライン アクティブ化 オンライン アクティブ化 使用履歴 オーダー履歴 キーのダウンロード オーダーの追加 ライセンス プールの作成 ライセンス プール名 ▲ Product -License Type Fulfillment Number <u>Default(Unassigned</u> Licenses) (2) Not in use (2) Arcserve UDP 7.0 NFR 64010762 Arcserve Backup 18 File Server Module - Product plus 1 Year Enterprise Maintenance 64010762 offline (2) Not in use (2) Arcserve UDP 7.0 NFR 64010762 Arcserve Backup 18 File Server Module - Product plus 1 Year Enterprise Maintenance 64010762 UDPCH (2) Not in use (2) Arcserve UDP 7.0 NFR 64010762

このセクションには、以下のトピックが含まれます。

- ライセンス プールのステータスの表 示
- ライセンス プールの管理

ライセンス プールのステータスの表示

(ホーム) タブの画面で、作成したライセンスプールの詳細を確認できます。リストを並べ替えるには、テーブルの右側にあるオプションを使用します。

- ライセンスプール名単位
- ■製品名単位

ライセンス プール名 単位

このオプションを使用すると、既存のライセンス プールのリストが、それらの名前順に表示されます。 リストには複数のフィールドが表示されます。

arcserve LICENSE PORTAL

ホーム

オフライン アクティブ化 オンライン アクティブ化 使用履歴 オーダー履歴 キーのダウンロード

7	ナーダーの追加 ライセン	ンス プールの作成			
•	ライセンス プール名 ▲	Product ▲	License Type	Fulfillment Number	単
0	<u>Default(Unassigned</u> <u>Licenses) (2)</u>				
		Not in use (2)			
			Arcserve UDP 7.0 NFR	64010762	なり
			Arcserve Backup 18 File Server Module - Product plus 1 Year Enterprise Maintenance	64010762	₹
•	offline (2)				
		Not in use (2)			
			Arcserve UDP 7.0 NFR	64010762	な
			Arcserve Backup 18 File Server Module - Product plus 1 Year Enterprise Maintenance	64010762	₹5
•	UDPCH (2)				
•		Not in use (2)			
			Arcserve UDP 7.0 NFR	64010762	な

ライセンス プール名

プールの名 前を示します。プール名 のアルファベット 順に並 べられます。 ライセンス プールとは、1 つ以上 のマシンに割り当 てられたライセンスのグループのことです。

ライセンス プールの前のアイコンを使用すると、プールのすべての名前を展開または折りたたむことができます。個々のライセンス プールを折りたたんだり、展開したりすることもできます。

製品名

ライセンスプールからライセンスを消費する製品の名前を示します。

Fulfillment Number

オーダーに関連付けられている Fulfillment Number が表示されます。

単位

製品に使用される単位のタイプを示します。たとえば、マシン、ソケット、TB などです。

購入

特定の製品の購入ライセンス数を示します。

使用総数

購入したライセンスの中から、使用したライセンスの数を示します。

残り

単位に割り当てることができる使用可能なライセンスの数を示します。

製品名単位

このオプションを使用すると、ライセンスプールのリストが、製品名順に表示されます。

arcserve [®] LICENSE PORTAL					
赤	一ム オフライン アクティブ化 オンライン アクティブ化 使用履歴	オーダー履歴	キーのダウ	フンロード	
2	ナーダーの追加 ライセンス ブールの作成				
-	License Type 🔺	Product -	Fulfillment Number	ライセンス ブ	
-	Arcserve Backup 18 File Server Module - Product plus 1 Year Enterprise Maintenance (4)				
-		Not in use (4)			
			64010762	<u>Default(Unas</u> <u>Licenses)</u>	
			64010762	offline	
			64010762	<u>UDPCH</u>	
			64010762	UDPd	
-	Arcserve UDP 7.0 NFR (4)				
		Not in use (4)			
			64010762	<u>Default(Unas</u> <u>Licenses)</u>	
			64010762	offline	
			64010762	<u>UDPCH</u>	

製品名

ライセンスプールが割り当てられている製品の名前を示します。

Fulfillment Number

オーダーに関連付けられている Fulfillment Number が表示されます。

ライセンス プール名

製品に割り当てられているライセンスプールの名前を示します。

単位

ライセンス プールに使用される単位のタイプを示します。たとえば、マシン、ソケット、TB などです。

購入

特定のライセンスプールの購入ライセンス数を示します。

使用総数

購入したライセンスの中から、使用したライセンスの数を示します。

残り

単位に割り当てることができる使用可能なライセンスの数を示します。

ライセンスプールの管理

Arcserve ライセンス ポータルには、ライセンス プールを管理 するための複数 のアクションが用意されています。

このセクションには、以下のトピックが含まれます。

- オーダーの追加
- ライセンスプールの作成
- ライセンスプールの割り当て
- ライセンスプールの変更または削除

オーダーの追加

Arcserve ライセンス ポータルを使用すると、オーダーの詳細を直接指定してプロフィールに追加できます。新しいオーダーを追加するには、有効なOrder ID と Fulfillment Number が必要です。

有効かつ一意の Order ID および Fulfillment Number とは、次のような番号を指します。

- 詳細が一致:同一オーダーの Order ID と Fulfillment Number が送信された。
- 一意の番号: どちらの番号も使用されていない。

以下の手順に従います。

1. ホームページから オーダーの追加]をクリックします。



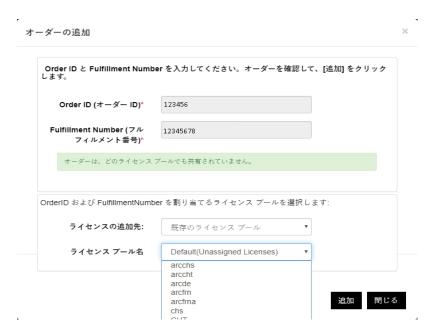
2. **オー**ダーの追加]ダイアログで、Order ID と Fulfillment Number を入力し、 **オーダーの確認**]をクリックします。

Order ID と Fulfillment Nu します。	mber を入力してください。オ·	ーダーを確認して、[追加] をクリッ	12
Order ID (オーダー ID)			
Fulfillment Number (フルフィルメント番号)			

指定した Order ID と Fulfillment Number がまだ使用されていない場合は、 **ライセンスの追加先**]オプションと **ライセンスプール名**]オプションが表示されます。

- 3. **ライセンスの追加先**]タブでは、ドロップダウン リスト から次 のオプションを選択 できます。
 - a. 既存のライセンスプール: ドロップダウン リストから 既存のライセンスプール] オプションを選択した場合は、 ライセンスプール名] ドロップダウン リストから既存のプールを選択して 追加]をクリックできます。

注: デフォルトでは、既存のライセンスプールが選択されます。



b. 新規ライセンスプール: ドロップダウンリストから 新規ライセンスプール] オプションを選択した場合は、 **ライセンスプール名**] タブでライセンスプールの名前を指定し、 **追加**]をクリックする必要があります。



注: オフライン モードで共有されている既存のプールにオーダーを追加する場合は、以下の手順に従います。

- a. **オフライン アクティブ化**] タブに移動します。
- b. 使用可能なすべての製品を選択します。
- c. activation.arc ファイルをダウンロードします。
- d. activation.arc ファイルを各製品のインストールフォルダにコピーします。
 - Arcserve UDP: {UDP のインストールパ ス}/Management/Configuration
 - Arcserve Backup: {Arcserve Backup のインストールパス}。例: C:\Program Files(x86)\CA\ARCserve Backup\
 - Arcserve Email Archiving: /var/fas/www/Offline
- e. 「ライセンス管理]タブの [更新]をクリックして、追加したライセンスを表示します。

指定した詳細が一意かつ正確であるかどうかを確認します。確認が完了すると、 追加]ボタンが有効になります。

4. 追加]ボタンをクリックします。

オーダーが追加され、 ライセンス プール] リストに表示されます。

ライセンス プールの作成

ライセンス プールを作成すると、デフォルト プールから使用可能なライセンスを使用して新しいライセンス プールを追加できます。

以下の手順に従います。

1. ホームページで ライセンスプールの作成]をクリックします。





注:既存のライセンスプールと異なる名前を付ける必要があります。

3. **[New Pool Quantity (新しいプール数)**]オプションで、新しいプールに必要なライセンス数を割り当て、**保存**]をクリックします。

注: 製品名]行で、使用可能なライセンスの残りの数を確認できます。要件に基づいて、デフォルト ライセンス プールの別の製品名 からライセンスを入力します。

割り当てたライセンス数で新しいプールが作成されます。

ライセンスプールの割り当て

既存のライセンスプールを1つ以上の製品に割り当てまたは再割り当てするには、 **オン**ライン アクティブ化] タブを使用します。

詳細については、「<u>オンラインでの Arcserve 製品 ライセンスのアクティブ化</u>」を参照してください。

ライセンス プールの変更 または削除

既存のライセンスプールを変更または削除することができます。 以下の手順に従います。

- ホーム] タブをクリックします。
 既存のライセンス プールのリスト が表示されます。
- 2. 変更または削除するライセンスプールの名前をクリックします。 **ライセンスプールの編集**]ダイアログボックスが表示されます。



- 3. ライセンス プールの編集]オプションで、次のようにします。
 - 変更するには、プールの数を更新して、保存]をクリックします。
 - プールを削除するには、**削除**]をクリックします。

オフラインでの Arcserve 製品 ライセンスのアクティブ化

オフライン アクティベーションを使用すると、Arcserve 製品 ライセンスをオフラインモード でアクティブ化 できます。

詳細については、「<u>オフラインでの Arcserve UDP ライセンスのアクティブ化</u>」を参照してください。

オンラインでの Arcserve 製品 ライセンスのアクティブ化

サンライン アクティブ化] オプションを使用すると、サーバ上で使用可能な 1 つ以上の製品のライセンスを表示およびアクティブ化できます。 ライセンス プールを割り当てまたは再割り当てした後、製品コンソールからライセンス アクティベーションのステータスを確認することができます。



以下の手順に従います。

- 1. リストからサーバを選択します。
 - 選択したサーバに関連する製品が製品テーブルに表示されます。
- 2. **Change License Pool (ライセンス プールを変 更)**] ドロップダウン オプションからプールを選 択し、 **適 用**]をクリックします。

注:選択したプールは、製品名]に表示されるすべての製品に適用されます。

選択した製品にライセンスプールが割り当てられることを示す確認メッセージが表示されます。

- 3. 確認メッセージで **þ**K]をクリックします。
 - 割り当 てられたライセンス プールを確認 できます。
- 4. Arcserve 製品コンソールから、ライセンスがアクティブ化されているかどうかを確認します。

例: Arcserve UDP のライセンスをアクティブ化して、適用されているすべてのライセンスを確認したら、Arcserve UDP コンソールから、 **トルプ] > Activate** and License Management (アクティブ化とライセンス管理)] ウィンドウに移動し、**ライセンス管理**] タブをクリックします。

使用履歴の表示

使用履歴]では、ライセンスの完全な使用状況を確認できます。



サーバ名

ライセンスで使用されているサーバの名前を示します。

製品

サーバにインストールされている製品の名前を示します。

製品バージョン

製品のバージョンを示します。

保護データ

そのバージョンの製品で保護されているデータの量を示します。

保護されている RawData

そのバージョンの製品で保護されている Raw データの量を示します。

ストレージ上 のデータ サイズ

ストレージ上にあるそのバージョンの製品のデータサイズを示します。

物理サーバ

製品に使用されている物理サーバの数を示します。

仮想サーバ

製品に使用されている仮想サーバの数を示します。

更新日

最終更新日を示します。

ステータス

ライセンスの現在のステータスを示します。ステータスは「アクティブ] または (非アクティブ) です。

オーダー履歴の表示

オーダー履歴]では、ライセンスオーダーの完全な履歴を確認できます。

ホーム オフライン アクティブ化 オンライン アクティブ化 使用履歴

オーダー履歴

オー	ダー番号 ∨	Fulfillment V Number (フルフィルメント番号)	製品	~
3881	67	37586351	Arcserve UDP Archiving 6.0 - 50 Mailboxes Pack - License Only	
3881	67	37586351	Arcserve UDP Archiving 6.0 - 50 Mailboxes Pack - One Year Enterprise Maintenance - New	
3881	67	37586351	Arcserve UDP Archiving 6.0 - Historic email Ingestion - Per GB	
3881	67	37586351	Arcserve UDP v6.5 Premium Edition - Socket License Only	
3881	67	37586351	Arcserve UDP v6.5 Premium Edition - Socket One Year Enterprise Maintenance - New	

オーダー番号

オーダーに対して発行された Order ID を示します。

Fulfillment Number

オーダーに対して発行された Fulfillment Number を示します。

製品

オーダーした製品の名前を示します。

数

オーダーした製品のライセンス数を示します。

オーダー日付

オーダーした日付を示します。

期間の月数

オーダーに適用される月数を示します。

注: 期間の月数]はメンテナンスベースのオーダーに適用されます。

メンテナンス開始

メンテナンスの開始日を示します。

メンテナンス終了

メンテナンスの終了日を示します。

スタンドアロン エージェント/Arcserve RHA 用のキーのダ ウンロード

Download Keys (キーのダウンロード)] オプションを使用すると、Arcserve UDP または Arcserve RHA のスタンドアロン エージェントのキーを表示 および生成 できます。

重要: [Download Keys (キーのダウンロード)] オプションは、Arcserve RHA または Arcserve UDP スタンドアロン エージェント にのみ適用されます。キー関連の情報を表示することができ、キーを生成することもできます。

キーを生成するには、製品名]からいずれかのオプションを選択し、数]ドロップ ダウンリストから数を選択する必要があります。

注: Arcserve RHA は、Arcserve UDP プレミアム エディション以上 のライセンスを購入した場合にのみ、 製品名] ドロップダウン リストに表示されます。

UDP Agent for Windows/UDP Agent for Linux 用に生成されたキーは、下の詳細と共に表示されます。



製品名

キーを生成した製品の名前を示します。

製品バージョン

キーを生成した製品のバージョンを示します。

数

この製品のために生成したキーの数を示します。

+-

特定の数に対して生成された製品のキー番号を示します。

Date

キー生成の日時を示します。

Arcserve RHA 用に生成されたキーは、以下の詳細と共に表示されます。



製品名

キーを生成した製品の名前を示します。

RHA オーダー

キーを生成した RHA オーダーを示します。

Skill Description (スキルの説明)

この製品のために生成したキーのスキルの説明を示します。

Platform

この製品のために生成したキーのプラットフォームを示します。

+-

特定の数に対して生成された製品のキー番号を示します。

数

この製品のために生成したキーの数を示します。

Date

キー生成の日時を示します。

第9章: FAQ

このセクションには、FAQ(よくある質問) が含まれます。

システムがインターネットに接続されているときに、オフライン アクティベーションを強制的に実行する方法	171
制的に美行する万法	171
<u>Arcserve からライセンス関連の通知を頻繁に受信する理由</u>	.172
Internet Explorer を使用して最新の変更を表示する方法	173
Arcserve ライセンス アクティベーション電子 メールが届かない	175
ライセンスが使用可能であっても、アプライアンスにライセンスエラーが表示される	176
Arcserve Backup と Arcserve UDP が同じマシン上にある場合にオンライン アクティベーションを実行する方法	.178
Arcserve Backup と Arcserve UDP が同じマシン上にある場合にオフライン アクティベーションを実行する方法	.179
NDMP をサポートする NAS フィルタ用の Arcserve UDP ソケット ベース エディション にライセンスを適用する方法	1 7 9
クラウド内のサーバ用の Arcserve UDP にライセンスを適用する方法	180

システムがインターネット に接続されているときに、オフライン アクティベーションを強制的に実行する方法

システムがインターネットに接続されているときに Arcserve UDP のオフライン アクティベーションを強制的に実行するには、以下の手順に従います。

- 1. 以下の場所に移動します。
 - C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Management\Configuration
- 2. EntitlementRegister_Windows.properties ファイルを開きます。
- 3. サーバ名を SERVERNAME=www.arcserve-register.com から SERVERNAME=www.dummy-arcserve-register.com に変更します。
- 4. ここで、<u>リンク</u>先に記載されているオフライン アクティベーション用 のプロセスを 実行します。

注: オフライン アクティベーション用に提供されるリンクをクリックすると、オンライン マシンとオフライン マシンの両方の手順が表示されます。この場合は、すべての手順を同じマシンで実行する必要があります。

Arcserve からライセンス関連の通知を頻繁に受信する理由

Arcserve では、年間 サブスクリプションに基づいて製品ライセンスを提供しています。 受信された通知は、製品タイプに基づき、以下の理由によるものです。

Arcserve UDP: サブスクリプションベースのライセンスの場合、登録された電子メールアドレスに、特定の日数でサブスクリプションが終了することを通知する電子メールと通知が送信されます。たとえば、60、30、15、および0日で通知されます。

注: サブスクリプション終了日については、 **ዾッセージ**] タブに移動し、Arcserve UDP コンソールの **詳細**]をクリックします。

Arcserve Email Archiving オンプレミス: サブスクリプションベースのライセンスの場合、サブスクリプション有効期限通知がSuper Admin に送信されます。 この通知は、サブスクリプションの有効期限から60日前に、24時間ごとに表示されます。

注: サブスクリプション有効期限後、30日間の猶予期間があります。猶予期間が終了すると、Super Admin 以外のすべての役割でログインが失敗します。Super Admin は、製品ライセンスをアクティブ化して、すべての役割のログインを有効化する必要があります。

Arcserve Backup: サブスクリプションベースのライセンスの場合、登録された電子メールアドレスに、特定の日数でサブスクリプションが終了することを通知する電子メールと通知が送信されます。たとえば、60、30、15、および0日で通知されます。

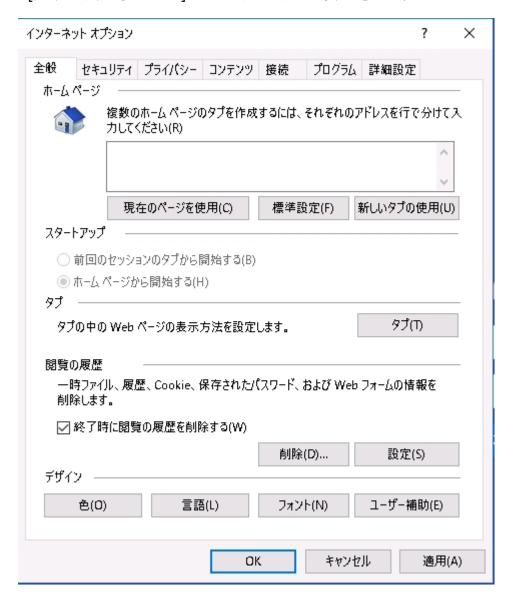
注: サブスクリプション終了日詳細は、Arcserve Backup マネージャの右上隅に表示されます。

Internet Explorer を使用して最新の変更を表示する 方法

Internet Explorer を使用して Arcserve エンド ユーザライセンス ポータルを参照している場合、Arcserve エンド ユーザライセンス ポータルの最新の変更が反映されていないことがあります。

最新の変更を表示するには、次の手順を実行します。

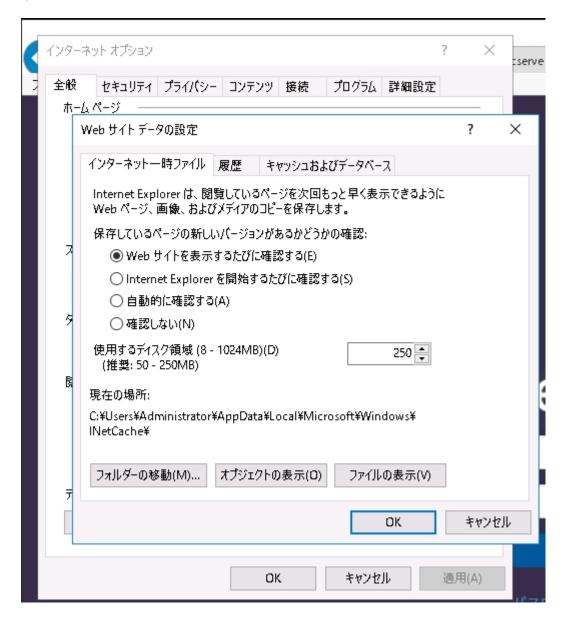
- 1. Internet Explorer で 設定] でイコンをクリックします。
- 2. ドロップダウン リストから **インター ネット オプション**]を選択します。 **インターネット オプション**]ダイアログ ボックスが表示されます。



3. 閲覧の履歴]の 設定]をクリックします。

Web サイト データの設定]ダイアログ ボックスが表示されます。

[Web サイトを表示するするたびに確認する]を選択し、 **(DK**)をクリックします。



これで、最新の変更を正しく表示できます。

Arcserve ライセンス アクティベーション電子 メールが届かない

Arcserve ライセンス アクティベーション電子 メールが届 かないことがあります。アクティベーション電子 メールを受信するには、以下の手順に従います。

- メールボックスの迷惑メールフォルダを確認してください。または
- 電子メールの設定で電子メールアドレス
 Arcserve.Registration@arcserve.comにアクティベーションメールの受信が許可されていることを手動で確認するか、管理者に問い合わせてください。

ライセンスが使用可能であっても、アプライアンスにライセンス エラーが表示される

複数の理由により、アプライアンスでライセンスエラーが発生することがあります。

ライセンスが使用可能であっても、アプライアンスのアクティビティ ログに、ライセンス に関連する次のエラー メッセージが記録されることがあります。

ライセンス エラー. [ヘルプ] - 「アクティベーションとライセンス] に移動して、このノードで必要とされる正確なライセンスを確認してください。

アプライアンスに使用できるライセンスを表示するには、以下を確認します。

1. RPS も v6.5 にアップグレードされており、Arcserve UDP コンソールで RPS がアプライアンスとして検出される。

Arcserve UDP コンソールで RPS のアップグレードが検出されたかどうかは、表示されるアイコンのタイプからわかります。

■ アプライアンスで RPS が動作していないときに表示されるアイコン:

デスティネーション: 復旧ポイントサーバ アクション ・ 復旧ポイントサーバ の追加				
		名前	ステータス	プラン数
۵	•	w2016pvp1		
		DS3	0	0
Δ		w2016shv1		
		DS3	0	0

■ アプライアンスで RPS が動作しているときに表示されるアイコン:

デスティネーション: 復旧ポイントサーバ

アクション・ 復旧ポイントサーバ の追加			
		名前	ステータス
۵	•	w2016pvp1	
		DS8	0

上記のアイコンが表示されない場合、RPS サーバはアプライアンスとして検出されていません。コンソールで RPS が検出されるようにするには、Arcserve UDP コンソールで RPS を右クリックし、 **更新**]をクリックします。

2. すべてのタスク/プランのバックアップ先が、ボリュームがアプライアンス上で作成されたデータストアである。

注: アプライアンスのライセンスは、バックアップ先がアプライアンス上のボリュームである場合にのみ使用されます。 バックアップ先がアプライアンス上でない場合は、アプライアンスライセンスとは別のライセンスを追加する必要があります。

Arcserve Backup と Arcserve UDP が同じマシン上にある場合にオンライン アクティベーションを実行する方法

解決策 1:

最初にArcserve UDPをアクティブ化したい場合

以下の手順に従います。

- 1. Arcserve UDP のオンライン アクティベーション プロセスを実行します。
- 2. Arcserve UDP のアクティベーションが完了したら、**ライセンス管理**]の **更** 新]をクリックし、アクティブ化済みのライセンスを表示します。
- 3. Arcserve Backup マネージャを開くと、Arcserve Backup が自動的にアクティブ化されています。

解決策 2:

最初にArcserve Backupをアクティブ化したい場合

以下の手順に従います。

- 1. Arcserve Backup のオンライン アクティベーション プロセスを実 行します。
- 2. Arcserve Backup のアクティベーションが完了したら、Arcserve Backup マネージャを開き、アクティブ化済みのライセンスを表示します。
- 3. Arcserve UDP コンソールの **ライセンス管理**]タブの **更新**]をクリックして、アクティブ化済みライセンスを表示します。

Arcserve Backup と Arcserve UDP が同じマシン上にある場合にオフライン アクティベーションを実行する方法

以下の手順に従います。

- 1. まず、Arcserve UDP のオフライン アクティベーションを実行します。
- 2. アクティブ化済みのライセンスを更新するには、Arcserve UDP コンソールの 与イセンス管理] タブで **更新**] をクリックします。

注: Arcserve Backup マネージャからライセンスを更新しようとすると、Arcserve Backup 17.5、17.5 SP1、18.0 で以下のエラーが発生します。

ライセンスの更新を完了できませんでした(rc=[5311])

Arcserve Backup 19.0 の場合は、以下のエラーが発生します。

リクエストの処理に失敗しました。しばらく待ってから再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

- 3. Arcserve Backup マネージャで、 [A_LIC] フォルダに移動し、ca.olf ファイルが 以下 のパスにあるかどうかを確認します。
 - C:\Program Files (x86)\Arcserve\SharedComponents\CA_LIC
- 4. 以下のパスにある EntitlementRegister_Windows.properties ファイルをコピーします。
 - C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Management\Configuration
- 5. コピーした EntitlementRegister_Windows.properties ファイルを以下のパスに再配置します。
 - C:\Program Files (x86)\CA\ARCserve Backup
- 6. Arcserve Backup マネージャを開きます。

Arcserve Backup が正常にアクティブ化されました。

NDMP をサポートする NAS フィルタ用の Arcserve UDP ソケット ベース エディションにライセンスを適用する方法

Arcserve Backup NDMP NAS Option では、各論理 NAS をカウントします。そのため、大規模な NAS に複数のヘッドまたは複数の IP がある場合、すべてに Premium ソケット ライセンスが必要です。

一方で、Arcserve UDP UNC パス/CIFS 保護では、代替手段が提供されます。 つまり、NDMP とは異なり、継続的な増分が提供され、より優れたデデュープを備えており、RPS 間レプリケーションからメリットを得られます。 この保護は Standard Editionで利用できます。

クラウド内のサーバ用の Arcserve UDP にライセンスを 適用する方法

クラウド インスタンスの場合、OS インスタンスごとのライセンスを使用するか、OS に vCPU を提供するのと同じ数のソケット ベースのライセンスを使用することができます

第10章:トラブルシューティング

このセクションには、以下のトピックが含まれます。

オンライン アクティベーションをアクティブ化 すると、オフライン アクティベーシ り替わる	タンに切
<u>り替わる</u>	182
Arcserve UDP v6.5 スタンドアロン エージェント へのアップグレード後、ポーイン認証情報を使用できなくなった	タルのログ
イン認証情報を使用できなくなった	184
ライセンス SDK をインストールおよびアンインストールする方法	185

第10章:トラブルシューティング 181

オンライン アクティベーションをアクティブ化 すると、オフライン アクティベーションに切り替わる

Arcserve UDP:

Arcserve UDP ライセンスをオンラインでアクティブ化 すると、オフライン アクティベーションのウィンド ウが表 示されます。

現象

インターネット 接続を使用してコンソールから Arcserve UDP をアクティブ化 すると、 オフライン アクティベーションのウィンド ウが表示されます。この問題は、アクティベーションに使用されているマシンでプロキシが有効になっていることが原因で発生します。

解決策

注: この解決策は、Arcserve UDP v6.5 Update 1 にのみ適用されます。それより前のバージョンの Arcserve UDP を使用している場合、この解決策で解決するには、既存のバージョンの Arcserve UDP に P00000715 または UDPV6.5U1 パッチを適用してください。

アクティベーションに進む前に、次の場所にある EntitlementRegister_ Windows.properties ファイルに PROXY_HOSTNAME パラメータと PROXY_PORT_ NUMBER パラメータを追加します。

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Management\Configuration\
PROXY_HOSTNAME=<カスタマ プロキシのホスト名>

PROXY_PORT_NUMBER=<カスタマプロキシのポート番号>

Arcserve Backup:

Arcserve Backup ライセンスをオンラインでアクティブ化 すると、オフライン アクティベーションのウィンド ウが表 示されます。

現象

インターネット 接続を使用してコンソールから Arcserve Backup をアクティブ化する と、オフライン アクティベーションのウィンド ウが表示されます。この問題は、アクティベーションに使用されているマシンでプロキシが有効になっていることが原因で発生します。

解決策

注:問題を解決するためのテスト修正が用意されています。詳細については、 Arcserve サポートまでお問い合わせください。 アクティベーションに進む前に、次の場所にある EntitlementRegister_ Windows.properties ファイルに PROXY_HOSTNAME パラメータと PROXY_PORT_ NUMBER パラメータを追加します。

C:\Program Files (x86)\CA\Arcserve Backup
PROXY_HOSTNAME=<カスタマプロキシのホスト名>
PROXY_PORT_NUMBER=<カスタマプロキシのポート番号>

Arcserve UDP v6.5 スタンドアロン エージェントへのアップグレード後、ポータルのログイン認証情報を使用できなくなった

Arcserve UDP v6.5 スタンドアロン エージェントのアップグレード後には、ログイン認証情報を使用できなくなります。

現象

Arcserve ライセンス ポータルのログイン認証情報は、Arcserve UDP v6.5 スタンドアロン エージェントへのアップグレード後に使用できなくなります。この問題は、PIP (製品向上プログラム)に登録した Arcserve UDP スタンドアロン エージェントを以前のバージョンからアップグレードした場合に発生します。

解決策

この問題を回避するには、以下の手順に従います。

- 1. <u>リンク</u>をクリックし、Arcserve ライセンス ポータルに移動します。
 Arcserve ライセンス ポータルのログイン ページが表 示されます。
- 2. Arcserve ライセンス ポータルのログイン ページで **パスワードを忘れた場合**] をクリックします。
- 3. 【パスワードを忘れた場合】ページで、PIP 登録に使用した電子メールアドレスを入力し、 **サブミット**】をクリックします。
- 4. 上記で入力した電子メールアドレスを開きます。
 Arcserve から、「パスワードを忘れた場合」という電子メールが届きます。
- 5. その電子メールからアクティベーション用のリンクをクリックします。
 Arcserve の登録ページが表示され、ユーザの電子メールがすでに入力された状態で パスワードの作成] ダイアログ ボックスが表示されます。
- 6. **【パスワードの作成**】ダイアログ ボックスで、Arcserve ライセンス ポータルのプロファイルを作成 するための希望 のパスワードを入力します。
- 7. 保存]をクリックします。

Arcserve ライセンス ポータルのログイン ページが表 示されます。新しく作成した認証情報を使用して、Arcserve ライセンス ポータルにログインすることができます。

ライセンス SDK をインストールおよびアンインストールする方法

Arcserve 製品では、すべてのリリースでライセンス SDK がインストールされます。手動で再インストール、アップグレード、またはアンインストールできます。

ライセンス SDK をインストールまたはアップグレードするには、以下の手順に従います。

- 1. すべての Arcserve アプリケーションを閉じて、ご使用のシステムで実行されているすべての Arcserve 製品のサービスを停止します。
- 2. lic98.dll または lic98_64.dll が使用されていないことを確認します。
- 3. 以下のいずれかの操作を実行します。
 - Arcserve Backup の場合: Arcserve Backup の iso をマウントし、 \IntelNT\LICENSE フォルダに移動します。
 - Arcserve UDP の場合: UDP コンソールマシンで以下の UDP インストールパスに移動します。

X:\Program Files\Arcserve\Unified Data
Protection\Management\Deployment\D2D\IntelNT\LICENSE

- 4. BaseLicInst.exe を実行します。
- 5. \IntelNT\LICENSE から lic_comp_codes.dat をコピーして、C:\Program Files (x86)\Arcserve\SharedComponents\CA_LIC のファイルを置き換えます。

ライセンス SDK をアンインストールするには、以下の手順に従います。

- 1. C:\Program Files (x86)\Arcserve\SharedComponents\CA_LIC フォルダに移動します。
- 2. C:\Program Files (x86)\Arcserve\SharedComponents\CA_LIC から lic98_uninstaller.zip のファイルを抽出します。
- 3. rmlicense.bat を実行してライセンス SDK をアンインストールします。